



## デジタルワイヤレスインターカムシステム

型名 **WD-D10 シリーズ**

**取扱説明書**  
(設置・施工設計編)

設置業者様向け

### 設置業者以外のユーザー様へ

本システムの設置は、高所での作業を伴う場合があります。設置工事は必ず販売店または専門の工事店にご依頼ください。

## もくじ

### はじめに

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 安全上のご注意 .....             | 3 |
| 設置・設定時のご注意 .....          | 4 |
| 本システムの使用周波数帯に関わるご注意 ..... | 4 |
| 病院、医療施設での使用に関するご注意 .....  | 4 |
| システムタイプ .....             | 5 |
| システム構成 .....              | 8 |
| システム構成図 .....             | 8 |
| システム構成表 .....             | 8 |
| 工事手配品一覧 .....             | 9 |

### 施工設計

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 設計準備 .....                          | 10 |
| 基本情報 .....                          | 10 |
| 電波環境の影響 .....                       | 11 |
| 設置例 .....                           | 12 |
| 小規模施設（同一空間 1 エリア + 事務所 他） .....     | 12 |
| 中規模施設（同一空間 2 エリア + $\alpha$ ） ..... | 13 |
| 大規模施設 1（同一空間複数フロア） .....            | 13 |
| 大規模施設 2（1 フロア広域） .....              | 13 |

### 設置

|  |    |
|--|----|
| 設置推奨手順 .....                           | 14 |
| 機器の設置場所の確認 .....                       | 15 |
| 電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認 .....              | 15 |
| ベースステーション                              |    |
| WD-D10BS を設置する .....                   | 16 |
| 設置上のご注意 .....                          | 16 |
| 各部の名称とはたらき .....                       | 16 |
| 動作 LED の表示 .....                       | 18 |
| 壁、天井への取り付け .....                       | 19 |
| 複数のベースステーション WD-D10BS を接続する .....      | 25 |
| ベースリンク型システムでベースステーションを接続する .....       | 25 |
| WD-D10BS に外部機器を接続する .....              | 28 |
| 外部機器を制御する .....                        | 28 |
| 外部音響機器を接続する .....                      | 29 |
| ホールマスター WT-MC60 を接続する .....            | 30 |
| ベースステーション WD-D10BS を使用して外部無線接続する ..... | 31 |

### 設定

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 端末登録とシステム設定の準備をする .....          | 32 |
| 親機と子機を登録する                       |    |
| (端末登録) .....                     | 32 |
| 端末のみを使用して端末登録する .....            | 32 |
| 設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して登録する ..... | 34 |
| 無線で端末を登録する .....                 | 35 |
| 有線で端末を登録する .....                 | 36 |

|                              |    |
|------------------------------|----|
| システムを設定する .....              | 39 |
| 設定ソフトウェア WD-ZS10 について .....  | 39 |
| PC と接続する .....               | 39 |
| WD-ZS10 を使用してシステムを設定する ..... | 40 |
| リスニングモードを設定する .....          | 41 |
| ベースステーションの送信出力を選択する .....    | 44 |
| システムの動作確認をする .....           | 46 |
| 子機の接続状況を確認する .....           | 46 |
| 設定データをバックアップする .....         | 47 |

### この取扱説明書の見かた

#### ■本文中の記号の見かた

- ご注意： 操作上の注意が書かれています。
- メモ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  参考ページや参照項目を示しています。

#### ■本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書（デジタルインターカムシステム取扱説明書（設置・施工設計編））では、ベースステーション WD-D10BS を「ベースステーション」または「親機」、ポータブルベースステーション（子機モード）およびポータブルトランシーバー WD-D10TR を「子機」と表記しています。また、ベースステーション WD-D10BS、ポータブルベースステーション、ポータブルトランシーバー WD-D10TR を総称して「端末」と表記しています。

## 安全上のご注意

### ■ 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



**警告**

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ■ 絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容であることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示しています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は AC プラグをコンセントから抜く)を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



**警告**

電源 (AC100 V) の接続には十分ご注意ください。誤った配線・接続は火災や感電の原因となります。



- ・ 電源は AC100 V 以外で使用しない。
- ・ 電源ケーブルを束ねて使用しない。
- ・ 電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない。また、半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭く。
- ・ 電源プラグをコンセントに接続するときは、根元まで確実に差し込む。
- ・ 機器は、コンセントの近くに設置する。また、電源プラグが抜きやすいように設置する。



**警告**

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のときは、すぐに電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。



落雷により不具合が発生した場合は、すみやかに JVC ケンウッド カスタマーサポートにご連絡ください。



電源コードや機器の配線ケーブルは、取り扱いに気をつけてください。火災や故障の原因となります。



- ・ 上にものを乗せない。
- ・ 傷をつけない。
- ・ 無理に曲げない。
- ・ 引っ張らない。



火気を近づけないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。



機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと機器内部の温度が上昇し、やけどや故障の原因となります。



機器の中に異物を入れないでください。火災や故障の原因となります。



**注意**

機器を壁面に取り付けるときは、機器の質量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。強度が足りない場合、落下し、けがをすることがあります。



取り付けねじやナットで締め付ける箇所がある機器は、締め付けが不十分だと落下する原因となります。確実に締め付けてください。



機器を壁面、天井などに取り付けるときは、機器をしっかりと手で押さえ、落とさないようにご注意ください。けがや機器の故障の原因となります。



機器間の接続線に足などを引っかけないようご注意ください。つまずいてけがの原因となることがあります。



包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手が届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息の原因となります。



## 設置・設定時のご注意

- 本システムの設置は、高所での作業を伴う場合があります。設置工事は必ず販売店または専門の工事店にご依頼ください。
- 本設置・施工設計編取扱説明書は標準的な取り付け方法を紹介しています。設置にあたっては、設置現場の条件やルールに従って設置してください。
- 設置作業は、けがや事故を防止するため、ヘルメット、安全靴や手袋など、設置に適した服装で行なってください。
- すべての工事・配線が完了したら、電源を入れる前にもう一度、すべての結線・配線・コネクタが確実に接続できているか、また、極性、配線間違いがないか確かめてください。予期せぬ事故を未然に防げます。
- 本システムの設置は、下記の様な場所では電波の反射や屈折、散乱により、電波が干渉（マルチパスフェージング現象）し、音声途切れて通話が難しくなる場合があります。
  - ・ 剥き出しの金属の山が置いてある
  - ・ まわり四辺が金属の壁の部屋や建屋
  - ・ 波形の金属板の近く
  - ・ 製鉄・精錬所
  - ・ 床や天井が金属等々。対応については、お買い上げ販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

## 病院、医療施設での使用に関するご注意

本システムは上記の PHS 端末と同等の仕様となっており、基地局（ベースステーション、親機）、端末（子機）ともに平均出力 10 mW 以下になっています。最近の医用電気機器は妨害電波排除能力が向上しているものの、医用機器の近くで使用されることが想定される場合は、事前に十分な検証を行なった上で導入するようにしてください。

## 本システムの使用周波数帯に関わるご注意

本システムは、1,895.616 ~ 1,902.528 MHz の全帯域を使用する無線設備です。

本システムの無線機器には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。

1.9-D

本システムは、ARIB（一般社団法人電波産業会）の標準規格「ARIB STD-T101」に準拠しています。運用にあたっては電波法等、法律に基づいた運用が必要です。

### ■ 電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- 1 本システムは、同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本システムから他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止した上、お買い上げ販売店、またはお近くの JVCケンウッドカスタマーサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 2 その他、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げ販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

## システムタイプ

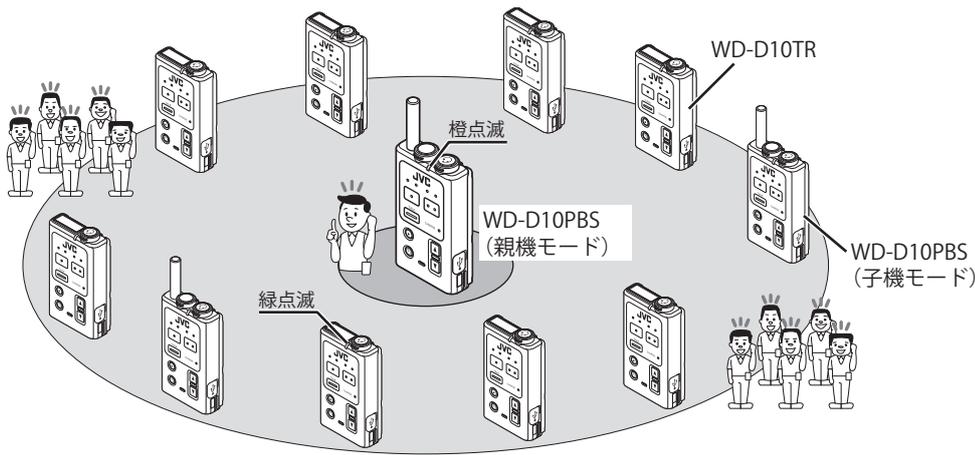
本システムは親機と子機を組み合わせるデジタルワイヤレスインターカムシステムです。システムは、親機のタイプによってポータブルタイプと据え置きタイプがあります。

### ■ ポータブルタイプ

#### ● スタンドアロン型システム

ポータブルベースステーション WD-D10PBS 1 台を親機として運用します。

子機はポータブルベースステーション WD-D10PBS(子機モード)またはポータブルトランシーバー WD-D10TR を通常音質モードでは最大 10 台、高音質モードでは最大 5 台接続できます(親機を含め、最大で 11 台(高音質モード時 6 台)間の同時通話が可能です)。



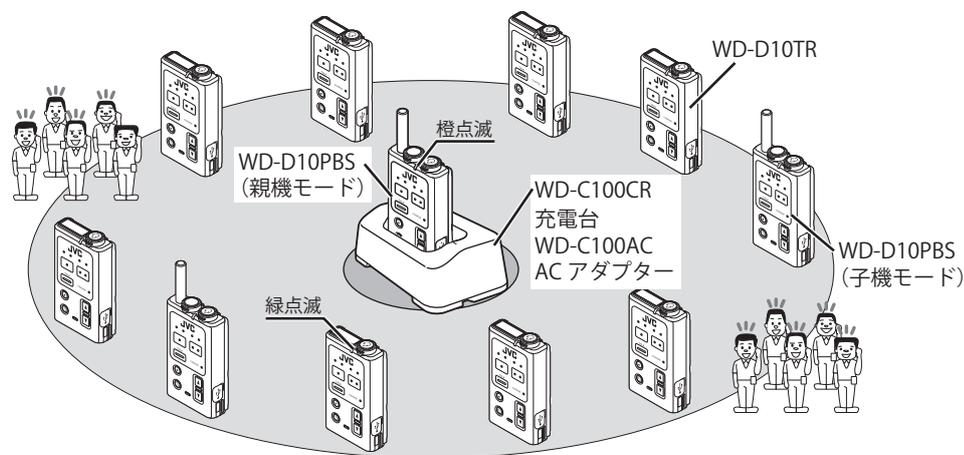
メモ：

- ポータブルベースステーション WD-D10PBS を子機として運用するには、WD-D10PBS 本体のモード切り換えが必要です。詳しくは WD-D10PBS の取扱説明書をご覧ください。
- システムの設定変更により音質モードを通常音質モードからより明瞭で聞き取りやすい音質での通話が可能となる高音質モードにすることができます。設定については設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用していただくか、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

## はじめに

### ● スタンドアロン型システム (充電台運用)

ポータブルベースステーション WD-D10PBS 1 台を充電台に装着した状態で充電しながら親機として運用します。WD-D10PBS の電源を入れて充電台に装着してください。バッテリーの持続時間を気にせず使用できます。子機の接続台数は前頁のスタンドアロン型システム (5 ページ) と変わりません。



#### メモ：

- WD-D10PBS を充電しながら親機として運用するには、設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用しシステム設定していただくか、お買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。
- WD-D10PBS の電源を切った状態で充電台に装着した場合は通常の充電動作と同じになります。
- WD-D10PBS を充電しながら親機として運用する場合バッテリーパックの寿命が通常よりも短くなる場合があります。バッテリーパックは、1 年をめぐりに交換することをお勧めします。
- WD-D10PBS を充電しながら親機として運用する場合、WD-D10PBS と他のトランシーバーとは 20 cm 以上離して設置してください。  
近づけすぎるとノイズが発生したり、充電、給電機能が停止する場合があります。停止してしまったときは一度充電台から WD-D10PBS をはずしてから装着しなおしてください。
- 充電台の充電ランプが点滅していたらエラーが発生しています。一度充電台から WD-D10PBS をはずしてから装着しなおしてください。
- WD-D10PBS を充電しながら親機として運用しているときは、外部無線連絡機能は使用できません。
- 0°C ~ 40°C の温度の室内で使用してください。
- 埃や油などの影響を受けないように使用してください。
- 充電端子は定期的に乾いた柔らかい布などを使ってクリーニングしてください。

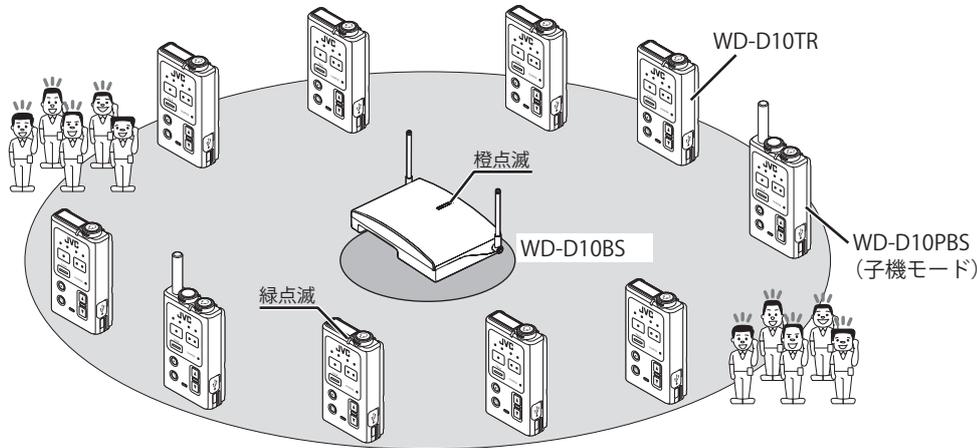
# はじめに

## ■ 据え置きタイプ

### ● スタンドアロン型システム

ベースステーション WD-D10BS 1 台を親機として運用します。

子機はポータブルベースステーション WD-D10PBS (子機モード) またはポータブルトランシーバー WD-D10TR を通常音質モードでは最大 10 台、高音質モードでは最大 5 台接続できます (最大で 10 台 (高音質モード時 5 台) 間の同時通話が可能です)。



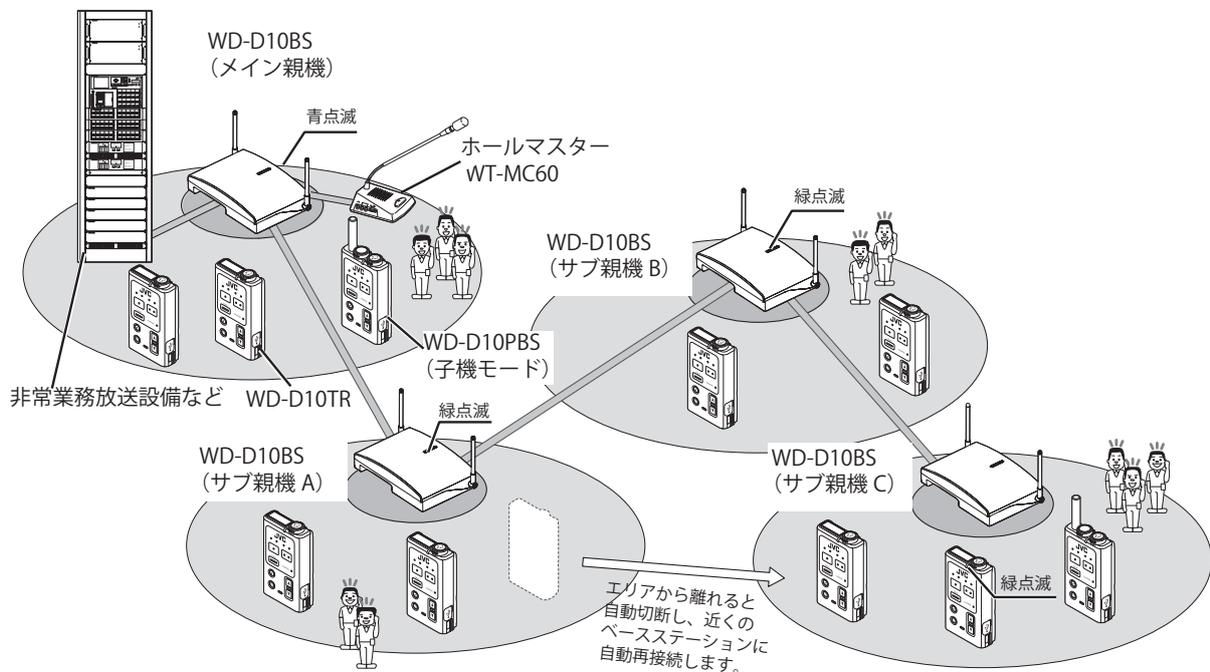
メモ：

- ポータブルベースステーション WD-D10PBS を子機として運用するには、WD-D10PBS 本体のモード切り換えが必要です。詳しくは WD-D10PBS の取扱説明書をご覧ください。

### ● ベースリンク型システム

据え置きタイプのシステムでは、複数 (最大で 4 台) のベースステーション WD-D10BS を有線で接続することで、エリアを拡張できます。WD-D10BS の 1 台をメイン親機、その他 (最大で 3 台) をサブ親機として運用します。

メイン親機の WD-D10BS には、外部機器の接続ができ、ホールマスターからインカム通話に参加したり、非常業務放送設備などからの音声インカムに流すことができます。

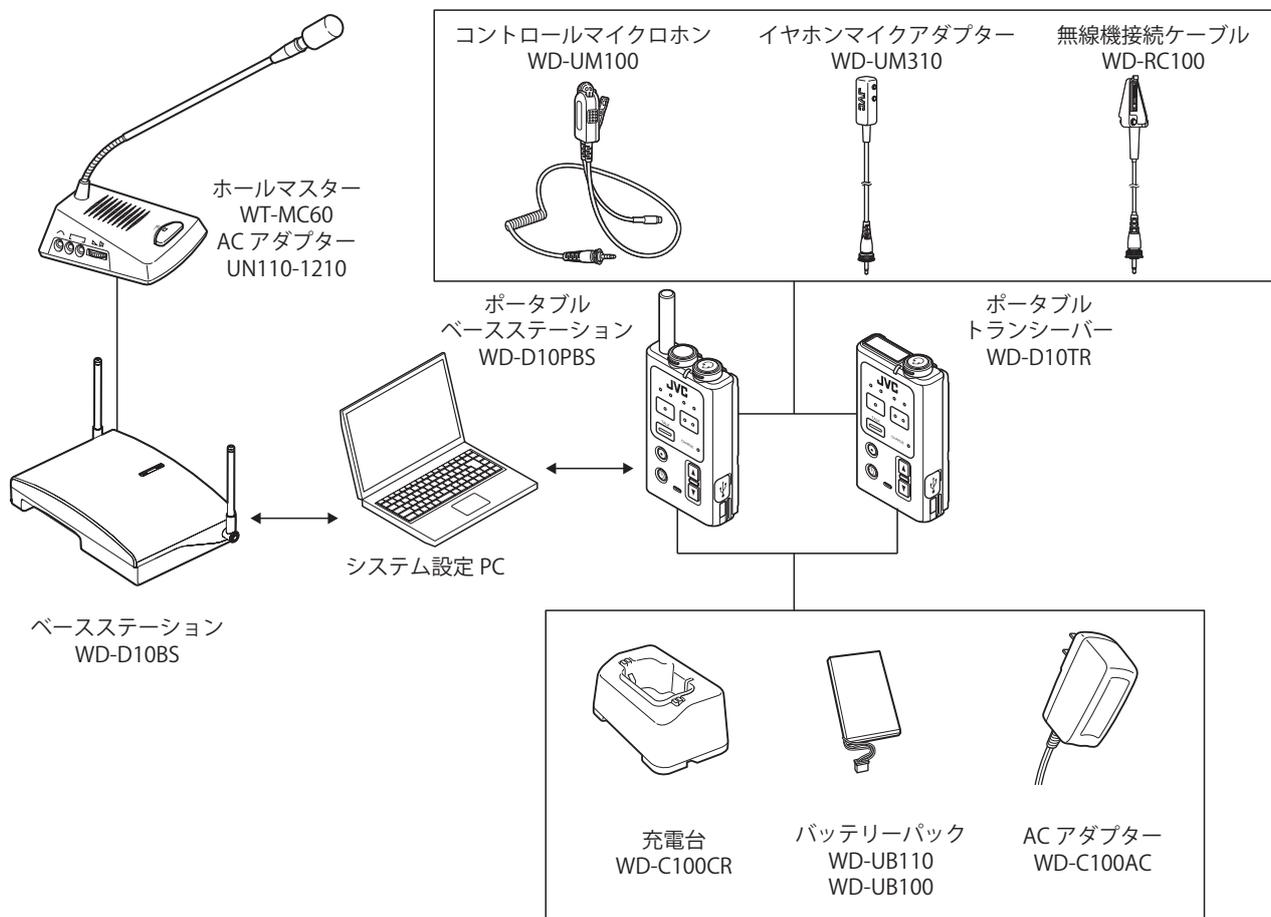


メモ：

- エリアを移動したときのベースステーションの切り換えには時間がかかる場合があります。
- 移動先のベースステーションに空きチャンネルがあるときのみ接続できます。
- 同時接続台数は周辺の電波状況や設置状況、環境によって変わります。
- メイン親機のみ外部機器の接続ができます。

## システム構成

### システム構成図



### システム構成表

| No. | 機種名       | 商品名            | 備考  |
|-----|-----------|----------------|---|
| 1   | WD-D10PBS | ポータブルベースステーション | 親機または子機として無線通信を行うトランシーバーです。   |
| 2   | WD-D10TR  | ポータブルトランシーバー   | 子機となるトランシーバーです。ポータブルベースステーションまたはベースステーションと無線通信を行います。  |
| 3   | WD-D10BS  | ベースステーション      | ポータブルトランシーバーとの通信を行います。  |
| 4   | WT-MC60   | ホールマスター        | ベースステーション WD-D10BS に接続してインカム通話に参加できます。  |
| 5   | WD-C100CR | 充電台            | ポータブルベースステーション WD-D10PBS/ ポータブルトランシーバー WD-D10TR 用の充電台です。  |
| 6   | WD-C100AC | AC アダプター       | 充電台 WD-C100CR 用の AC アダプターです。  |
| 7   | WD-UB110  | バッテリーパック       | ポータブルベースステーション WD-D10PBS 用のバッテリーパックです。  |
| 8   | WD-UB100  | バッテリーパック       | ポータブルトランシーバー WD-D10TR 用のバッテリーパックです。   |
| 9   | WD-UM100  | コントロールマイクロホン   | ポータブルベースステーション WD-D10PBS/ ポータブルトランシーバー WD-D10TR 用のコントロールマイクロホンです。(タイピン型)  |
| 10  | WD-UM310  | イヤホンマイクアダプター   | ポータブルベースステーション WD-D10PBS/ ポータブルトランシーバー WD-D10TR 用の変換アダプターです。<br>KENWOOD ブランドのアクセサリ (コントロールマイクロホンなど) と接続して使用します。 |
| 11  | WD-RC100  | 無線機接続ケーブル      | ポータブルベースステーション WD-D10PBS 用の変換ケーブルです。<br>KENWOOD ブランドの機器を使用した、外部の無線システムに連絡する場合に使用します。                            |

## 工事手配品一覧

| 工事手配品名   | 用途                      | 参照ページ    |
|--|-------------------------|----------|
| 配線用ケーブル  | ケーブル配線                  | ☞ 15 ページ |
| Φ6.3 ステレオフォンプラグ                                | 音声入出力ユニットの接続 (必要となった場合) | —        |
| ねじまたは木ねじ× ベースステーション設置台数分<br>(取り付ける場所に適した径寸・本数) | ベースステーション壁・天井取り付け       | ☞ 19 ページ |

## 設計準備

### 基本情報

お客様にデジタルインターカムシステムを快適にお使いいただくためには、外来波による影響、施設のフロア形状、反射波の影響、ノイズの影響などを考慮して最適な設置位置と設置数を計画することが重要です。

これらの工程を省略してベースステーションを設置すると、運用後に「繋がらない」「よく切れる」などのさまざまなトラブルを生む要因となります。

また、電波が届かないとインターカムで通話することはできません。電波の到達距離は環境に依存しますが、期待どおりの性能を維持できるのは屋外で100m、屋内で20mぐらいまでと想定の上設置位置と設置数を計画してください。

#### ■ 通信可能範囲

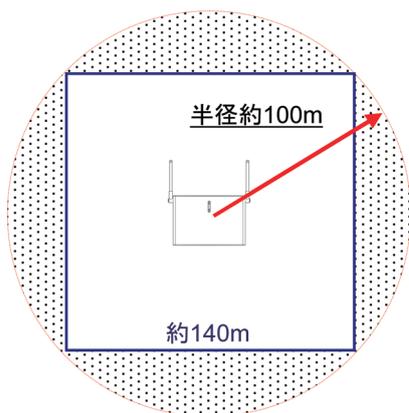


図1 屋外の通信可能範囲目安

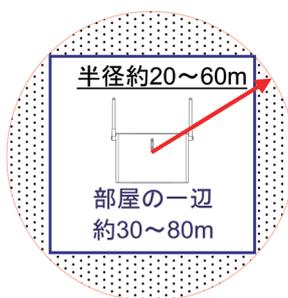


図2 屋内の通信可能範囲目安

屋内の通信範囲は、目安として半径約20m～60m(約30m～80m四方)ですが、ベースステーションの設置場所・建物の材質・仕器などにより異なります。

#### ■ アンテナの指向性

アンテナは180°回転します。天井への取り付け時はアンテナを垂直にしてください。壁への取り付けの場合は、壁面に対してアンテナを20～30°倒してください。また、壁面への横方向設置は避けてください。通話範囲が狭くなる場合があります。

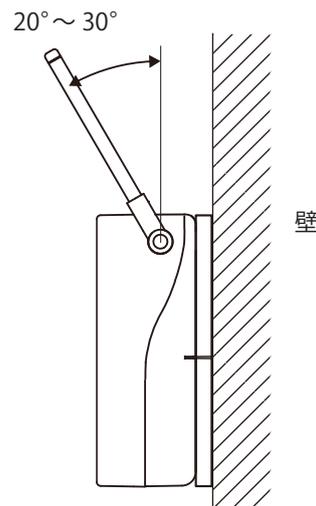
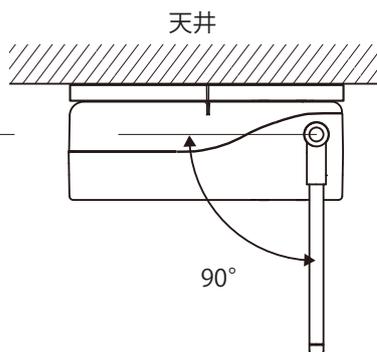
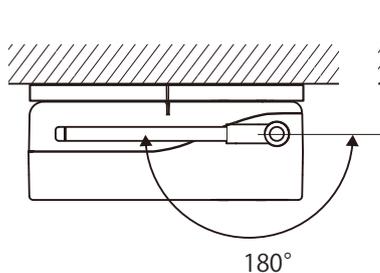


図4 天井面設置

図5 壁面設置

※数値は推奨角度です

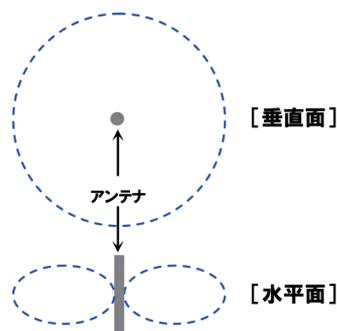


図3 アンテナの指向性

### ■ WD-D10BS 増設台数

WD-D10BS が増設できる台数は、メイン親機 1 台にサブ親機 3 台の合計 4 台です。

## 電波環境の影響

### ■ 外来波の調査

外来波とは「外からくる電波」のことです。ベースステーションを設置し電波を届かせる範囲（子機を使う範囲）にこの外来波がきていないかどうかを確認します。外来波が来ていると、デジタルインターカムシステムが「快適に使えない」「繋がらない」「よく切れる」などといったさまざまなトラブルを生む要因になります。

デジタルインターカムシステムが使う電波は 1.9 GHz 帯の帯域です。主にこの帯域を使用するシステムは PHS システム、DECT システムのため、外来波の調査には PHS や DECT アナライザを使用すると便利です。

(どのメーカーのものでも構いませんが、例えば PHS なら「リーダー電子 LF970」などが小型で便利です)

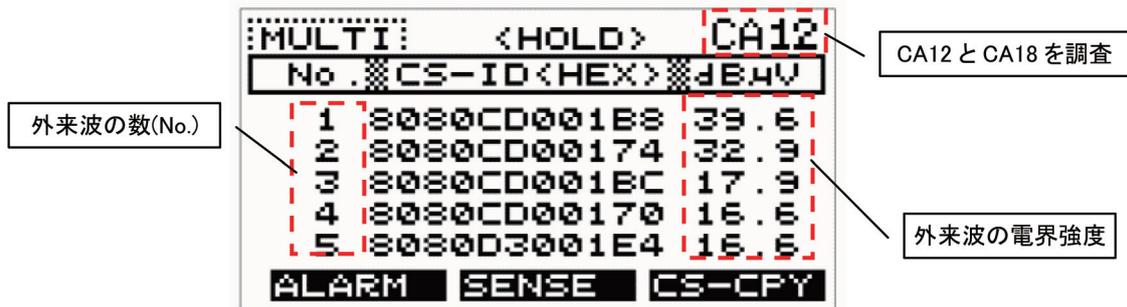


図 6 参考例 LF970 の表示画面

子機を使いたいエリア全域の複数のポイントで、アナライザによる外来波の電界強度を測定してください。測定の結果「外来波を受信しない」、もしくは受信レベルが「20 dBμV 以下」であればデジタルインターカムシステムにほとんど影響を与えません。30 dBμV を超えると、デジタルインターカムシステムはすでに使用中のチャンネルであると検出してそのチャンネルを使用できなくなります。

測定結果が上記条件を超えていても、例えば「最大レベルが 40 dB μ V 以下でかつ数が 3 つ以下」「最大レベルが 50 dB μ V 以下でかつ数が 1 つ以下」などの特定の条件下では、子機の台数によっては、問題なく使用できる場合もあります。詳しくは JVCケンウッドカスタマーサポートにお問い合わせください。

※ 近年、デジタルインターカムシステムが使用する 1.9 GHz 帯の技術基準が改正され、色々な方式の技術的条件が追加されました。その場合はアナライザでは測定が行えませんが、念のためにスペクトラムアナライザで「1893.5 MHz ~ 1906.1 MHz」の帯域を“電波の種類に関わらず”「20dBμV 以下」であるか確認してください。なお、バースト状の電波も測定できるようにスペクトラムアナライザの掃引時間は長くしてください。

### ■ 建築材による電波の減衰

ベースステーションのレイアウト設計で特に大変なのは障害物の問題です。コンクリート壁やスチール棚などに遮られると通話品質が下がってしまいます。対策としてはベースステーションの設置位置を調整するか、レイアウトを工夫するしかありません。電波は直進するわけではなく、迂回、透過、反射をします。そのためレイアウト設計にはある程度のノウハウが必要です。

| 材料                | 減衰量の目安 (dB) |
|-------------------|-------------|
| 鉄板 (アルミ・ステンレス)    | 電波を通さない     |
| 網入りガラス            | 減衰は大きい      |
| 断熱用グラスウール (アルミ箔付) | 37.0        |
| ALC (100mm)       | 9.6         |
| 瓦                 | 6.2         |
| スレート (11mm)       | 4.1         |
| 木板 (15mm)         | 3.2         |
| 石膏ボード (7mm)       | 2.2         |
| レンガ (60mm)        | 1.2         |
| ガラス               | 減衰は小さい      |

表 2 1.9 GHz 帯電波の減衰量

## 設置例

WD-D10BS の設置は、施設の構造によって配置の調整が必要です。  
 参考に配置例を示しますが、必ずしもこのパターンに収まるわけではありません。お客様の要望を十分にヒアリングして、その案件ごとの適切な配置をするようにしてください。

### 小規模施設（同一空間 1 エリア + 事務所 他）

#### 特徴

- ・ 市街地パチンコ店：パチンコ台／スロット台計 200 ～ 300 台程度。（1 フloorのみ）
- ・ 子機接続台数： 最大 10 台（通常音声モード）  
                   最大 5 台（高音質モード）
- ・ ホールから壁に遮られた場所に事務所、休憩室などあり。
- ・ 天井高 3.5 m 程度。（遮蔽物なし）

#### 設置ポイント

- ・ 親機（ベースステーション）の設置台数 1 台。
- ・ ホール内は 1 システムでカバーできる店舗。
- ・ ホール以外の壁に遮られた事務所や休憩室に補助的にベースステーションを配置する。
- ・ 各ベースステーションが受け持つエリア間で子機が移動しても通話が切れたりしません。  
 子機は圏外の検出で自動切断を行い、最も近いベースステーションに自動接続を試みますので、多少のタイムラグが発生します。  
 各ベースステーション間をスムーズに切り換えるために、通信を切断するレベルの調整ができます（調整は販売店にご依頼ください）。

●：ベースステーション配置場所の目安

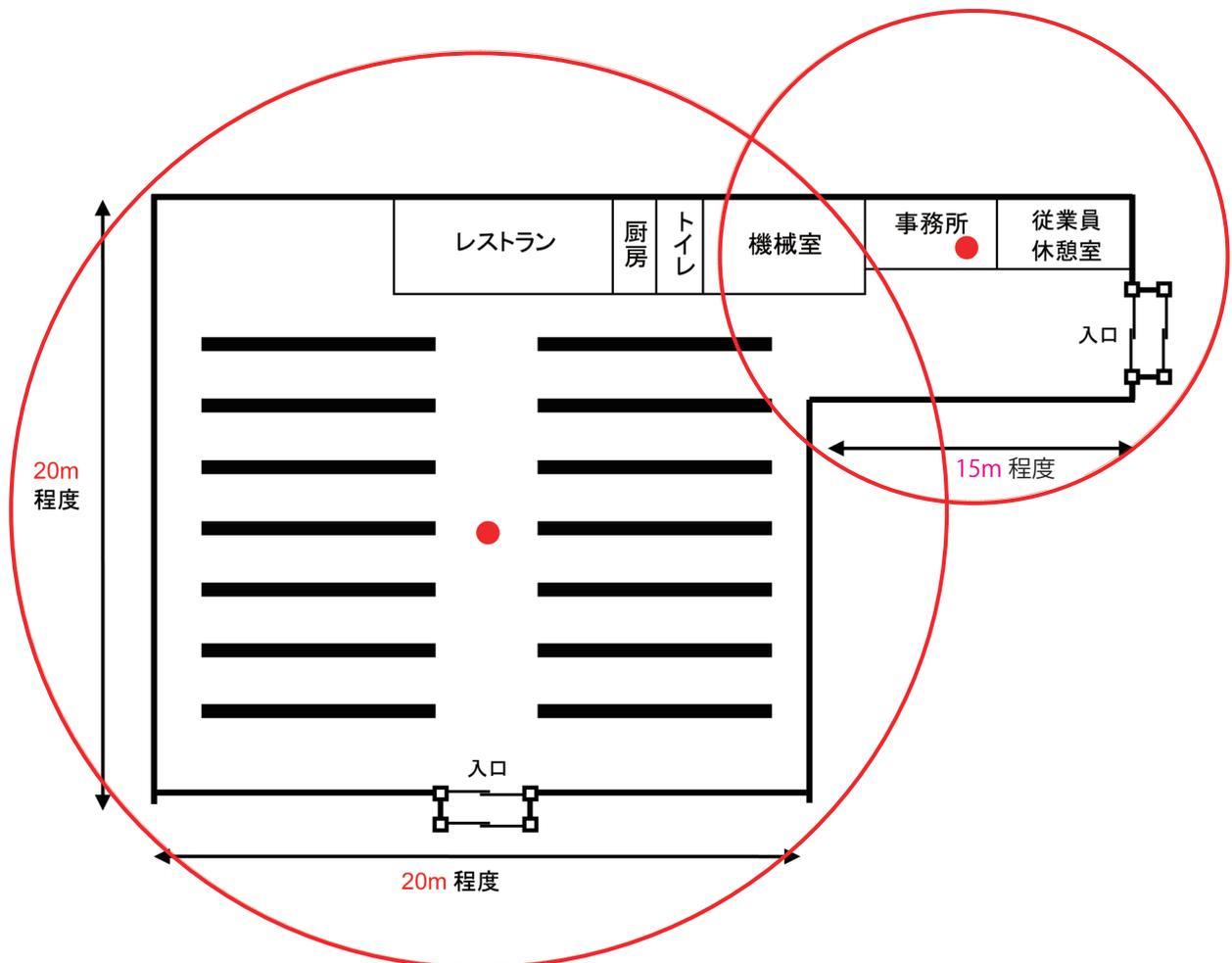


図 小規模施設の例

## 中規模施設（同一空間 2 エリア + $\alpha$ ）

### 特徴

- ・ 郊外パチンコ店：パチンコ台／スロット台計 800 台程度。（1 フloorのみ）
- ・ 子機使用台数 35 台。
- ・ ホールから壁に遮られた場所に事務所、休憩室、喫茶コーナー、機械室などあり。
- ・ 天井高 3.5 m 程度。（遮蔽物なし）

システム規模が大きいため WD-D10 シリーズはご利用になれません。  
当社 WD-3000 シリーズを検討ください。

---

## 大規模施設 1（同一空間複数フロア）

### 特徴

- ・ ゴルフ場クラブハウス：2 階建、吹き抜けあり。（2 フloor）
- ・ 子機使用台数 10 台以内程度。
- ・ 天井高 3 m 程度。

システム規模が大きいため WD-D10 シリーズはご利用になれません。  
当社 WD-3000 シリーズを検討ください。

---

## 大規模施設 2（1 フloor広域）

### 特徴

- ・ 工場や倉庫：巨大平屋建て。
- ・ 子機使用台数 10 台程度。
- ・ 天井高 10 m 程度。

システム規模が大きいため WD-D10 シリーズはご利用になれません。  
当社 WD-3000 シリーズを検討ください。

## 設置推奨手順

デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズの標準的な設置、設定手順は以下のとおりです。



メモ：

- ベースステーション WD-D10BS を使用しないシステムの場合は、設置工事は不要です。

## 機器の設置場所の確認

機器の設置場所について条件を満たしているかの確認を行います。

### ■ 設置上のご注意

- 設置工事は、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 付属品、または専用品以外を接続しないでください。故障、誤動作の原因となります。
- 水のかかる場所（屋外、浴室など）や湿気の多い場所に設置しないでください。感電や故障の原因となります。
- ほこりや振動の多いところに設置しないでください。故障や破損の原因となります。
- 直射日光、暖房設備、ボイラーなど特に温度の上がる場所に設置しないでください。機器表面などが変形、劣化したり、故障の原因となります。
- 硫化水素の発生する場所に設置しないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因となります。

### ■ 設置条件

各機器の設置条件、使用環境条件は、次のとおりです。

| 機種名                      | 使用温度範囲   | 各機器共通条件  |
|--------------------------|----------|--|
| ポータブルベースステーション WD-D10PBS | -10℃～60℃ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿度：20%～80% RH（つゆつきなし）</li> <li>・ 急激な温度、湿度の変化がないこと</li> <li>・ 換気のよい場所</li> <li>・ 高周波ミシン、電気溶接機から離れた場所</li> <li>・ コンピューター、OA 機器から離れた場所</li> <li>・ ラジオ、テレビ、無線機器から離れた場所</li> <li>・ 医療用機器から離れた場所</li> <li>・ 動力線から離れた場所</li> <li>・ ノイズ源となるような機器から離れた場所</li> <li>・ 直射日光の当たらない場所</li> <li>・ 通行の妨げにならない場所</li> <li>・ 雨水のかからない場所</li> <li>・ 金属粉、塵埃の少ない場所</li> <li>・ 振動、騒音の少ない場所</li> <li>・ 油、化学薬品などの化学変化の影響を受けにくい場所</li> </ul> |
| ポータブルトランシーバー WD-D10TR    | -10℃～60℃ |  |
| ベースステーション WD-D10BS       | -10℃～50℃ |  |
| 充電台 WD-C100CR            | 0℃～40℃   |  |
| AC アダプター WD-C100AC       | 0℃～40℃   |  |
| コントロールマイクロホン WD-UM100    | -10℃～60℃ |  |
| イヤホンマイクアダプター WD-UM310    | -10℃～60℃ |  |
| 無線機接続ケーブル WD-RC100       | -10℃～60℃ |  |

## 電源ケーブル、配線ケーブルのルート確認

機器の設置にあたって必要となる電源ケーブルおよび配線ケーブルのルートの確認を行います。

### ■ 配線ケーブル条件

ベースステーションとベースステーション間の接続ケーブルは2芯のツイストペアケーブルを使用します。下記のケーブル、または同等品を使用してください。

- 富士電線株式会社 「電子ボタン電話デジタル伝送用ケーブル ICT」

#### 最大配線距離

| 線径 (mm) | 配線距離 (m) |
|---------|----------|
| φ 0.5   | 600      |
| φ 0.65  | 1000     |

表 1 配線可能距離

ご注意：

- 配線ケーブルは、動力機器などの電源ケーブルと一緒に束ねたり、平行してはわせないようにしてください。通話にノイズが入ったり、誤作動の原因となることがあります。

## ベースステーション WD-D10BS を設置する

ベースステーション WD-D10BS は、無線接続により通常音声モードでは最大 10 台、高音質モードでは最大 5 台のポータブルベースステーション WD-D10PBS (子機モード) / ポータブルトランシーバー WD-D10TR との通信を行うユニットです。

### 設置上のご注意

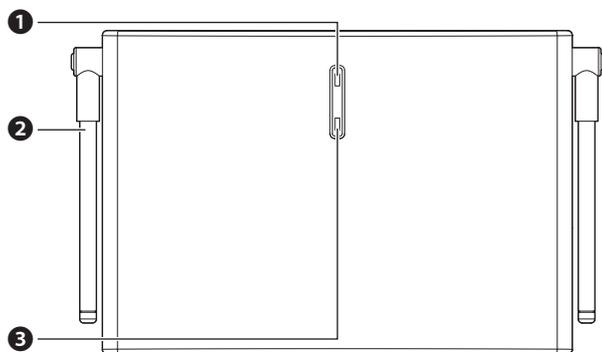
#### ■ ベースステーション WD-D10BS の設置場所

- 以下のような場所への設置はできる限りさけてください。通話にノイズが入ったり、誤動作の原因となることがあります。
  - ・ 金属板の上、または金属板の近く
  - ・ アンテナが金属に触れるような場所
  - ・ 空調機などの動力機器の近く
  - ・ ものの影になるような場所
  - ・ 低い場所
- ベースステーション WD-D10BS の防水性は、IP54 (JIS 防水保護等級 4 級) 準拠です。軒下など、直接雨水がかからない場所に設置できます。  
IP54 は防塵・防沫形 (全方向からの水の飛まつによっても有害な影響がでない) を意味しています。
- 軒下に設置する場合は、壁面に取り付けるように設置してください。
- 直接雨水がかかる場所に設置する場合は、下記のプラボックスまたは同等品に収納して設置してください。
  - 株式会社タカチ電機工業
  - プラボックス BCAP304012G
  - 木製取付ベース BMP3040W

### 各部の名称とはたらき

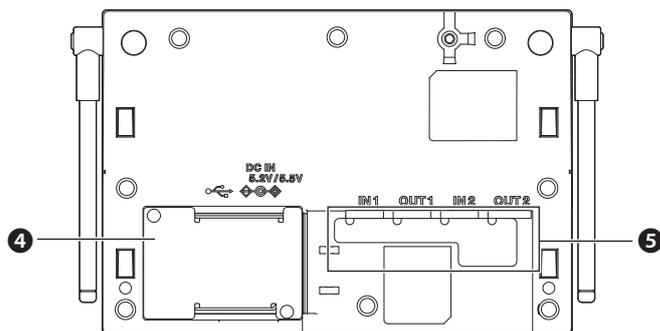
本機をご覧になりながらご確認ください

#### ■ 前面



- ① 動作 LED  
ベースステーションの状態を LED の色で表示します。
- ② アンテナ
- ③ [登録] ボタン  
無線通信による子機登録を行うときに使用します。

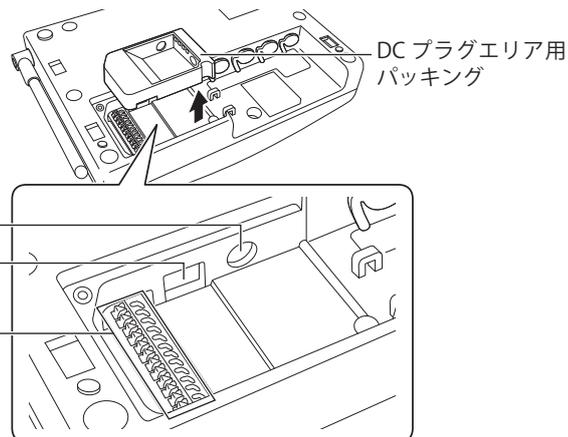
#### ■ 背面



- ④ DC プラグエリアカバー  
DC IN 端子に AC アダプターを接続するときや、データ設定端子、ベースリンク用端子台などを使用する場合にカバーをはずします。
- ⑤ 設定・調整エリアパッキング  
外部音響機器を接続するときや音量を調整するとき、動作モード設定スイッチを使用するときなどにはずします。

#### DC プラグエリアカバー内部

DC プラグエリアカバー内部には DC プラグエリア用パッキングがあります。パッキングをはずすと DC IN 端子やデータ設定端子、ベースリンク用端子台が使用できます。



- ⑥ DC IN 端子  
AC アダプターの DC プラグを接続します。

## 設置

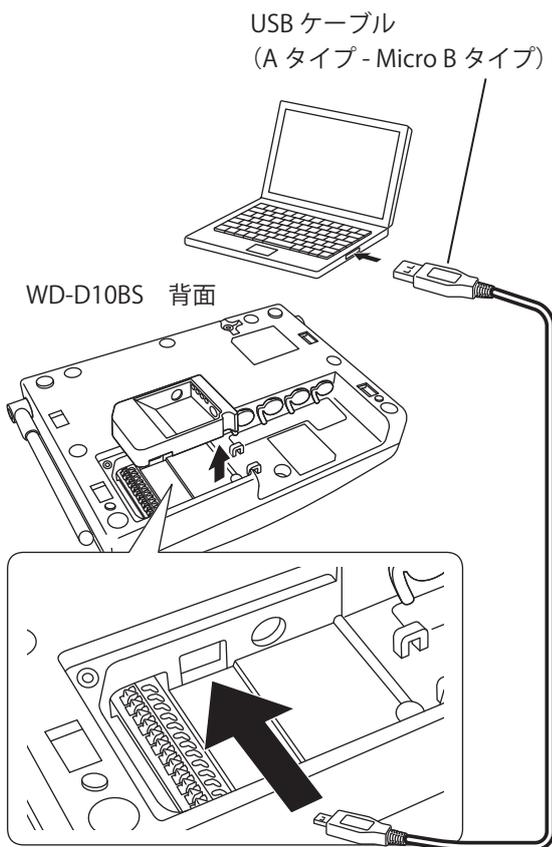
### ⑦ データ設定端子

設定ソフトウェア WD-ZS10 をインストールした PC と、WD-D10BS をケーブルで接続しシステムへ登録したり、設定の変更を行うときに使用します。

ケーブルは USB ケーブル (A タイプ - Micro B タイプ) (別売) をご使用ください。

ご注意：

- USB ケーブルの長さは 2 m 以内のものをご使用ください。
- 設定の変更については設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用してください。



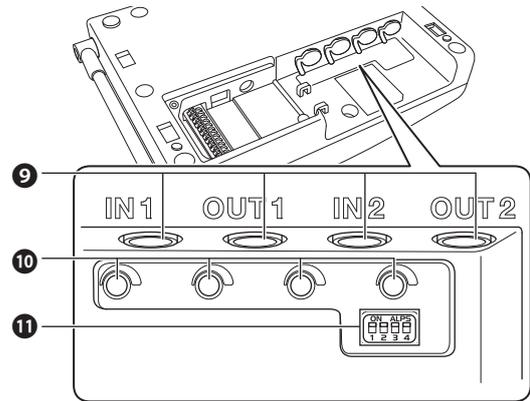
### ⑧ ベースリンク／外部機器制御端子

ベースステーションをベースリンク型システムとして運用するとき使用します。

詳しくは「ベースリンク型システムでベースステーションを接続する」(25 ページ) をご覧ください。

### 設定・調整エリアパッキング内部

設定・調整エリアパッキング内部には外部音声入出力端子、音量調整つまみ、動作モード設定スイッチがあります。



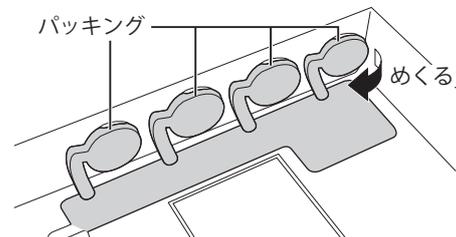
### ⑨ 外部音声入出力端子 (2 系統)

外部音響機器を接続することで、グループ通話などを外部に出力することができます。また、ホールマスター WT-MC60 などのマイクや外部機器を接続することで、グループ通話に参加することができます。

WT-MC60 の接続方法については「ホールマスター WT-MC60 を接続する」(28 ページ) をご覧ください。

WD-D10BS を使用して外部無線連絡を行う場合の接続方法については (31 ページ) をご覧ください。

外部機器を接続するときは端子のパッキングをめくりま



防水性能を保つため、接続しないときは端子にパッキングをかぶせてください。

### ⑩ 外部音声入出力音量調整つまみ

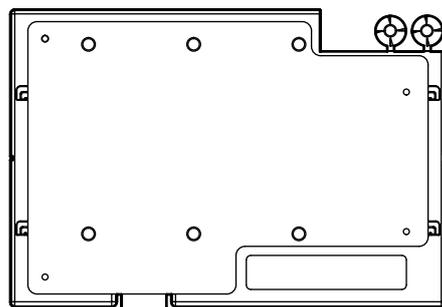
接続した外部音響機器やマイクなどの音量をマイナスドライバーで調整します。

### ⑪ 動作モード設定スイッチ

ベースステーションの端末タイプや動作モードを設定するときに使用します。

### 取付プレート

ベースステーションを壁や天井に設置するとき使用します。



## 動作 LED の表示

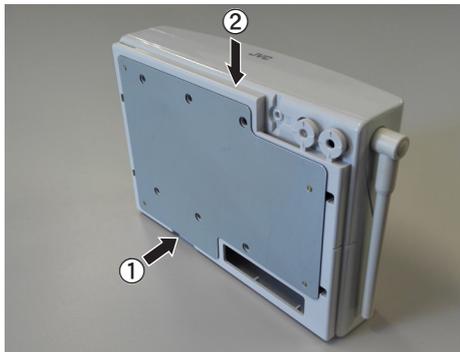
| 表示          | 動作モード               |                      |                                     |
|-------------|---------------------|----------------------|-------------------------------------|
|             | スタンドアローン型システム<br>親機 | ベースリンク型システム<br>メイン親機 | ベースリンク型システム<br>サブ親機                 |
| 緑点滅 (遅)     | —                   | —                    | 通常運用中                               |
| 緑点灯         | 無線子機登録<br>モード       | 無線子機登録<br>モード        | —                                   |
| 赤点滅 (遅)     | 電源起動時               |                      | 電源起動時、<br>回線未接続<br>(エリア圏外、<br>通話不可) |
| 青点滅 (遅)     | —                   | 通常運用中                | —                                   |
| 青点滅 (速)     | システムエラー             |                      |                                     |
| 青点灯         | PC による無線設定中         |                      |                                     |
| 橙点滅 (遅)     | 通常運用中               | —                    | —                                   |
| 緑・橙<br>交互点滅 | アップデート中             |                      |                                     |

※ 点滅 (遅) : 3 秒に 1 回点灯  
 点滅 (速) : 1 秒に 1 回点灯

ご注意:

- 動作 LED が速く青点滅しシステムエラーを示したときは、ポータブルベースステーション WD-D10PBS / ポータブルトランシーバー WD-D10TR にコントロールマイクロホン等のプラグが最後まで差し込まれているか確認後、電源を入り/切りしリセットさせてください。それでも復帰しない場合はお買い上げの販売店または設置業者にお問い合わせください。

## 壁、天井への取り付け



- 1 ベースステーション WD-D10BS から取付プレートを取りはずす  
ロックレバーを本体底面方向に押さえ、ベースステーション WD-D10BS を持ち上げながら取付プレートを下方方向にスライドして取りはずします。



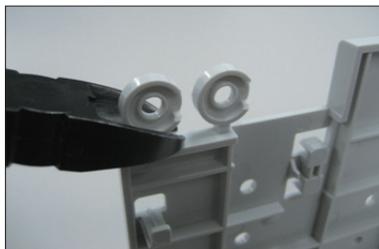
- 2 取付プレートをねじ（工事手配品）で壁や天井に取り付ける  
ねじを締める位置やねじの本数、寸法は取り付ける場所に合わせて検討してください。

ご注意：

- （WD-D10BS 本体落下防止対応）  
必ず落下防止ひもを使用し、以下のどちらかの方法で WD-D10BS 本体の落下防止対策を実施してください。  
①取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ  
②壁や天井と本体を落下防止ひもでつなぐ  
推奨は取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ方法です。  
落下防止ひもを取付プレートに掛けないで壁や天井に直接ねじ固定する場合は、取付プレートから金属プレートをはずして落下防止ひもを取りはずす必要があります。  
ベースステーション本体の取り付けが不十分な場合は、地震や予期せぬ衝撃などで本機が設置場所から落下する恐れがあり、本機が破損するだけでなくけがなどの原因となることがあり大変危険です。

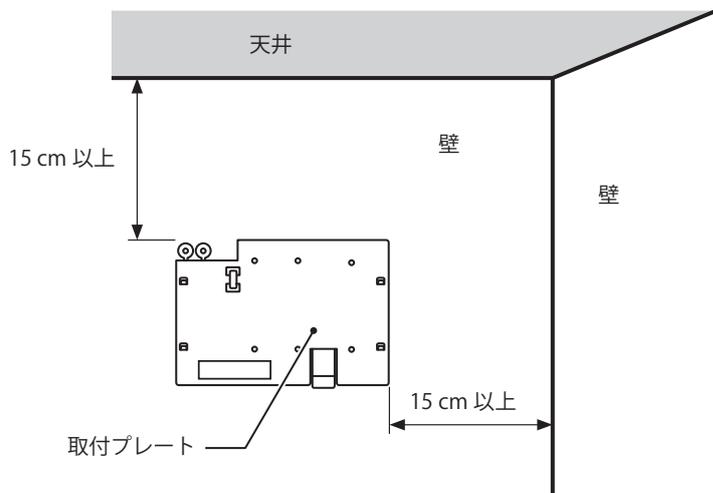
メモ：

- 本機を固定するときに落下防止ひもを直接、壁や天井に固定する場合は、取付プレートを取り付ける前にニッパーで取付プレートからスペーサーを切り取ります。  
(P.25 ページ)



ご注意：

- 取付プレートは、下図のように壁や天井から 15 cm 以上の間隔を空けて取り付けてください。壁や天井からの間隔が近すぎると、ベースステーション WD-D10BS を取付プレートに取り付けられなくなります。

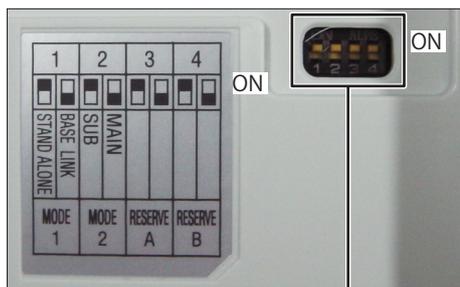


取り付ける面に適した部材を使用し、落下事故が発生しないように確実に固定してください。



設定エリア用パッキング

### 3 設定エリア用パッキングを取りはずす



動作モード設定スイッチ

### 4 動作モード設定スイッチを設定する

本機の動作モードを切り換えます。

#### 動作モード設定スイッチの設定



スタンドアロン型システム 親機  
MAIN/SUB(SW2) はどちらに設定してもスタン  
ダアロン型システムとして動作します。



ベースリンク型システム  
メイン親機



ベースリンク型システム  
サブ親機

メモ：

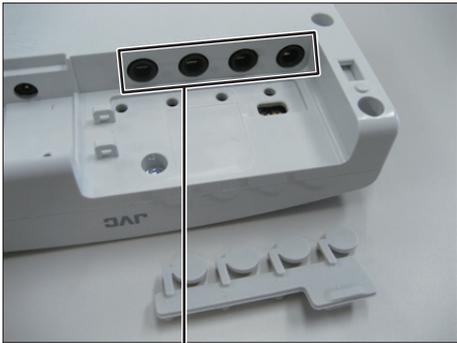
- 本機をベースリンク型システムで運用する場合は、ここでケーブルの接続を行います。詳しくは「ベースリンク型システムの設定を行う場合」(P.25 ページ) をご覧ください。



外部音声入出力音量調整つまみ

**5** 外部機器を接続する場合は、外部音声入出力音量調整つまみで音量を調整する

メモ： \_\_\_\_\_  
● つまみの調整は、マイナスイヤホンを使用してください。

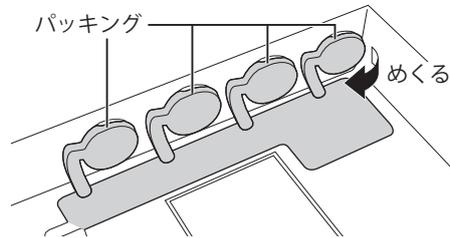


外部音声入出力端子

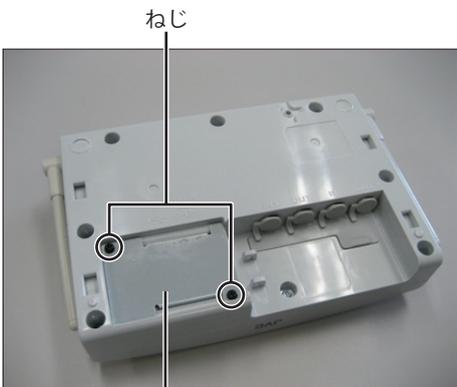
**6** 設定エリア用パッキングを取り付ける

**7** 外部機器を接続する場合は、外部音声入出力端子に外部機器を接続する

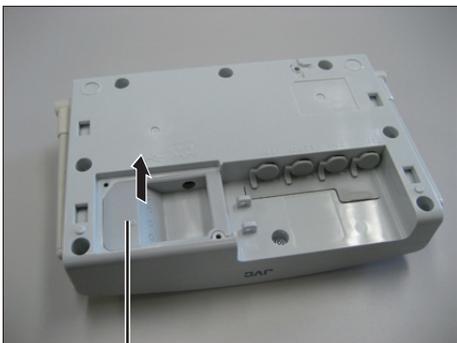
メモ： \_\_\_\_\_  
● 外部機器を接続するときは端子のパッキングをめくります。



● 防水性能を保つため、外部機器を接続しないときは端子にパッキングをかぶせてください。



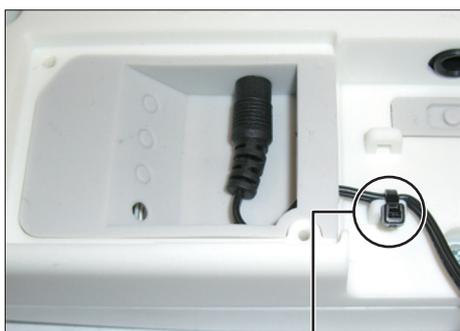
DC プラグエリアカバー



DC プラグエリア用パッキング

**8** DC プラグエリアカバーおよび DC プラグエリア用パッキングを取りはずす

ねじ 2 本をはずして DC プラグエリアカバーを取りはずし、DC プラグエリア用パッキングを取りはずします。



ACアダプターケーブル固定位置

- 9 DC プラグエリア用パッキングに AC アダプターの DC プラグを通し、パッキングを元の位置に戻す  
DC プラグはパッキングの大きな穴に通します。



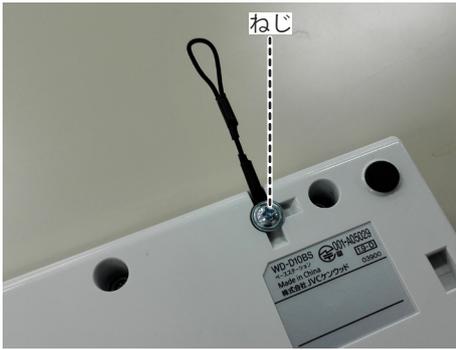
プラグ (AC アダプター) 用の穴

- 10 DC プラグを DC IN 端子に差し込み、ケーブルを固定する  
DC プラグを DC IN 端子の奥まで差し込み、ケーブルタイで AC アダプターのケーブルを固定します。

メモ：

- AC アダプターと電源が遠い場合は、AC 電源を延長してください。AC アダプターのケーブルは 1900 mm です。

- 11 DC プラグエリアカバーを取り付ける  
手順 8 で取りはずした DC プラグエリアカバーを元通りに取り付け、ねじ 2 本で固定します。



## 12 落下防止ひもを本体にねじで固定する

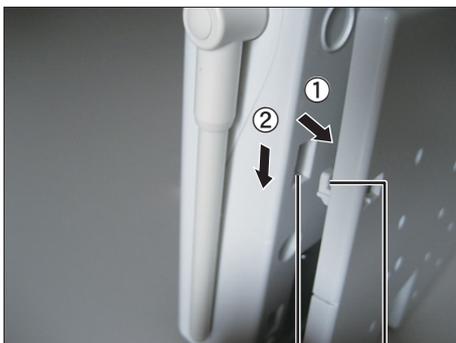
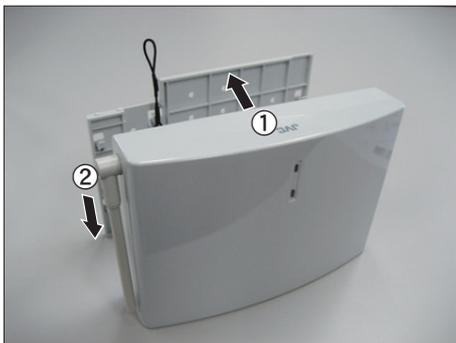
取付プレートに掛けられている落下防止ひもを、付属のねじでWD-D10BS本体に固定し、取付プレートと本体をつなぎます。ひもは3方向に出すことができます。推奨方向は上方向（写真の方向）です。

ご注意：

- (WD-D10BS 本体落下防止対応)  
必ず落下防止ひもを使用し、以下のどちらかの方法でWD-D10BS 本体の落下防止対策を実施してください。  
①取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ  
②壁や天井と本体を落下防止ひもでつなぐ  
推奨は取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ方法です。落下防止ひもを取付プレートに掛けずに壁や天井に直接ねじ固定する場合は、取付プレートから金属プレートははずして落下防止ひもを取りはずす必要があります。

メモ：

- 落下防止ひもは取付プレートにテープで貼り付けてあります。

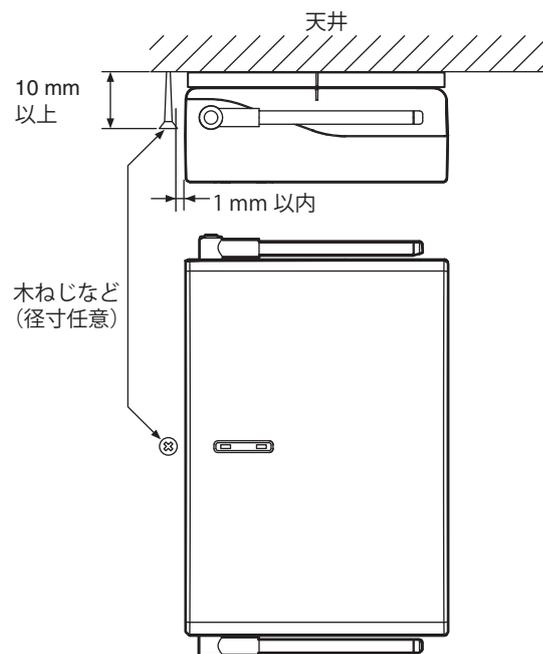


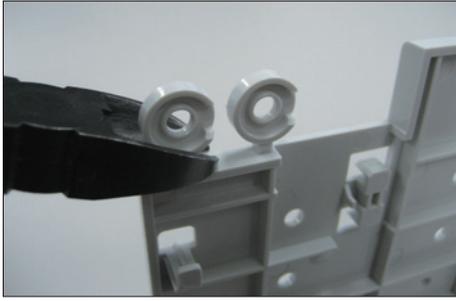
## 13 壁に固定した取付プレートに本体を取り付ける

取付プレートのかめを本体背面のくぼみに合わせ、本体を下方向に押し込みます。

ご注意：

- (WD-D10BS 本体落下防止対応)  
WD-D10BS を壁や天井へ設置する場合は、WD-D10BS の本体を取付プレートに取り付け後、下図のように木ねじ（工事手配品）を本体の直近に必ず打ち込んでください。ベースステーション本体のスライド防止ねじの取り付けが不十分な場合は、地震や予期せぬ衝撃などで本機がスライドし取付プレートからはずれ設置場所から落下する恐れがあります。本機が破損するだけでなくけがなどの原因となることがあり大変危険です。  
・ねじ締めは壁や柱の強度を十分考慮し実施してください。  
・ねじ締め後、ねじが十分に固定されているか確認してください。





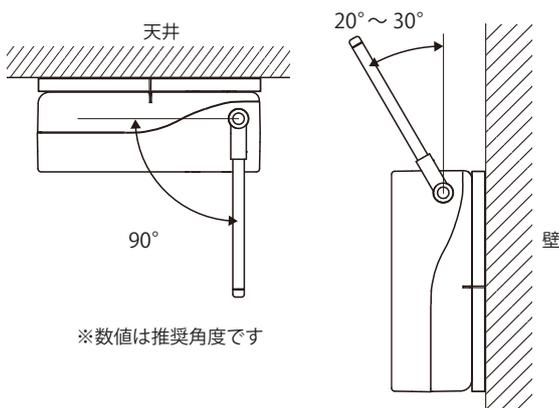
## 14 落下防止ひもを本体と壁にねじで固定する

取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐと作業がやりにくい場合、落下防止ひもを本体と、直接壁や天井に固定する方法もあります。

- 取付プレートから金属プレートをはずして落下防止ひもを取りはずしてから、切り取ったスペーサーおよび付属のワッシャーを使用して、ひもを壁や天井にねじで固定します。

ご注意：

- (WD-D10BS 本体落下防止対応)  
必ず落下防止ひもを使用し、以下のどちらかの方法でWD-D10BS 本体の落下防止対策を実施してください。  
①取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ  
②壁や天井と本体を落下防止ひもでつなぐ  
推奨は取付プレートと本体を落下防止ひもでつなぐ方法です。
- 落下防止ひもをねじで固定する場合は、必ず付属のスペーサーおよび付属のワッシャーを使用してください。スペーサーおよび付属のワッシャーを使用せずにねじのみでひもを固定すると、ひもが切れたり、ねじから抜けたりする恐れがあります。
- ねじでの固定の際、壁や柱の強度を十分考慮して設置してください。



## 15 アンテナを適切な角度に調整する

# 複数のベースステーション WD-D10BS を接続する

## ベースリンク型システムでベースステーションを接続する

複数のベースステーションを有線で接続し、ベースリンク型システムとして運用できます。  
 ベースリンク型システムで運用する場合は、動作モード設定スイッチで設定を変更し、各ベースステーションの外部機器制御端子を配線ケーブルで接続します。

### ■ 配線ケーブル条件

配線ケーブルは2芯のツイストペアケーブルを使用します。下記のケーブル、または同等品を使用してください。

- 富士電線株式会社 「電子ボタン電話デジタル伝送用ケーブル ICT」

#### 最大配線距離

| 線径 (mm) | 配線距離 (m) |
|---------|----------|
| φ 0.5   | 600      |
| φ 0.65  | 1000     |

表 1 配線可能距離

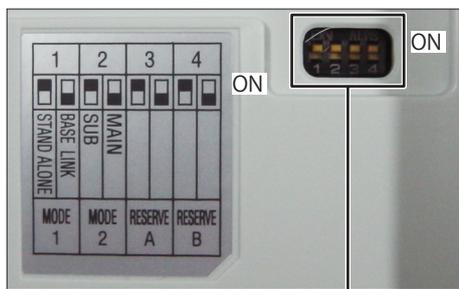
ご注意：

- 配線ケーブルは、動力機器などの電源ケーブルと一緒に束ねたり、平行してはわせないようにしてください。通話にノイズが入ったり、誤作動の原因となることがあります。

## 1 動作モード設定スイッチの設定を確認する

ベースリンク型システムのメイン、サブの設定が正しく行われていることを確認します。

- 動作モード設定スイッチ

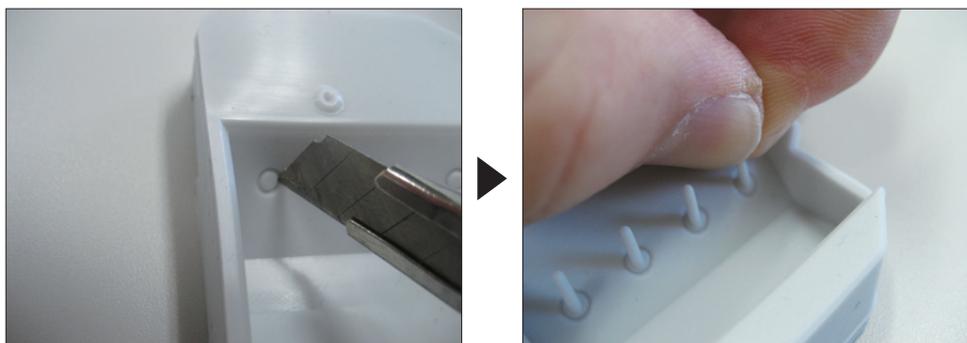


動作モード設定スイッチ

|  |  |
|--|--|
|  | スタンドアロン型システム 親機<br>MAIN/SUB(SW2) はどちらに設定してもスタンドアロン型システムとして動作します。 |
|  | ベースリンク型システム<br>メイン親機   |
|  | ベースリンク型システム<br>サブ親機  |

## 2 ケーブルを DC プラグエリア用パッキングの小さな穴を通して端子台に接続する

パッキング表の穴のくぼみに1か所切れ込みを入れ、パッキング裏の突起部分をつまんでひっぱって穴を開けます。



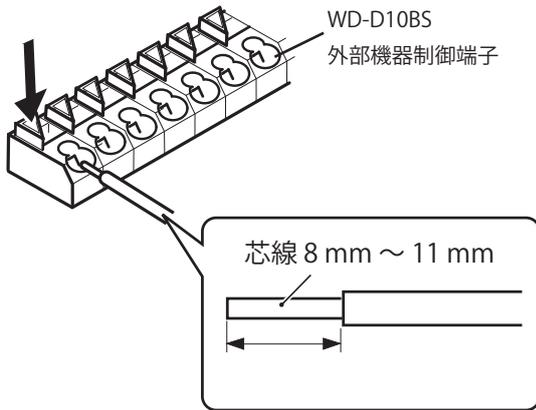
パッキングの穴にケーブルを通し、端子台にケーブルを接続します。



ベースリンク配線ケーブル用の穴

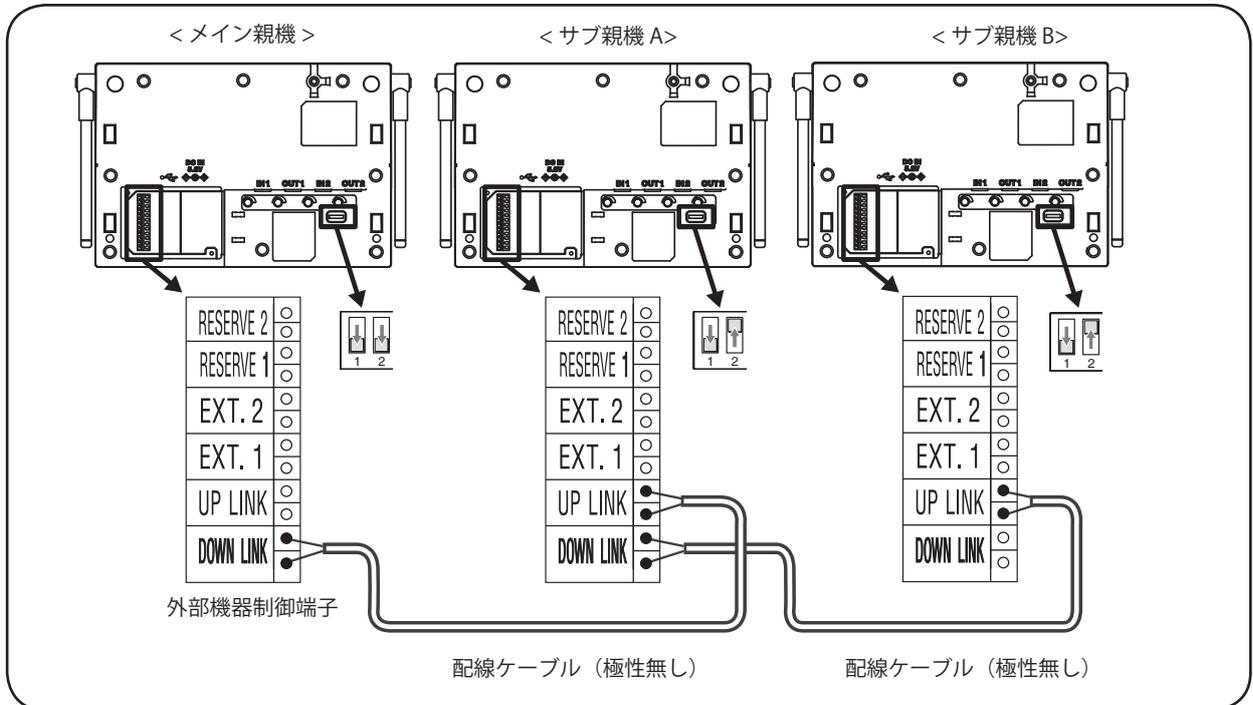


■ 配線ケーブルの接続方法



- 1 ケーブルの被ふくを 8 mm ~ 11 mm むく
- 2 左図の矢印部をマイナスドライバーなどで押して芯線を端子穴の奥までまっすぐに差し込む
- 3 ケーブルを引っ張って抜けないことを確かめる  
ケーブルをはずす場合は、マイナスドライバーなどで矢印部を押し、ケーブルを引き抜きます。

接続例：ベースリンク型システムでの親機の接続

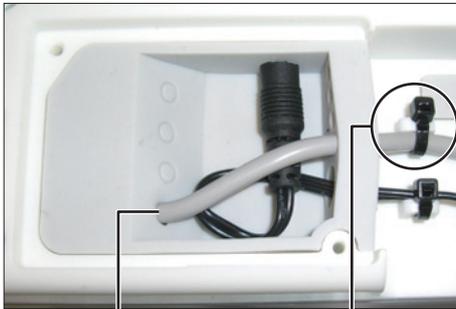


## 設置

### WD-D10BS ベースリンク／外部機器制御端子

| ピン No. | 名称               | 説明                     |
|--------|------------------|------------------------|
| 1      | ベースリンク Down-Link | 極性なし                   |
| 2      | ベースリンク Down-Link | 極性なし                   |
| 3      | ベースリンク Up-Link   | 極性なし                   |
| 4      | ベースリンク Up-Link   | 極性なし                   |
| 5      | 外部機器制御 1         | a 接点 極性なし<br>最大 24V/1A |
| 6      | 外部機器制御 1         | a 接点 極性なし<br>最大 24V/1A |
| 7      | 外部機器制御 2         | a 接点 極性なし<br>最大 24V/1A |
| 8      | 外部機器制御 2         | a 接点 極性なし<br>最大 24V/1A |
| 9      | NC               | 予備端子                   |
| 10     | NC               | 予備端子                   |
| 11     | NC               | 予備端子                   |
| 12     | NC               | 予備端子                   |

### 3 DC プラグエリア用パッキングをかぶせ、ケーブルを結束バンドで固定する



ベースリンク用配線ケーブル  
固定位置

隙間ができる場合はコーキング  
処理をしてください。

ケーブルとパッキング穴の間に隙間ができる場合は、防水性能を確保するためにコーキング処理を行なってください。  
ケーブルを固定したら、設定エリア用パッキングを元の位置に戻します。  
以降の作業は、22 ページの手順 11 をご覧ください。

## WD-D10BS に外部機器を接続する

ベースステーション WD-D10BS に外部機器を接続することで、下記のことができます。

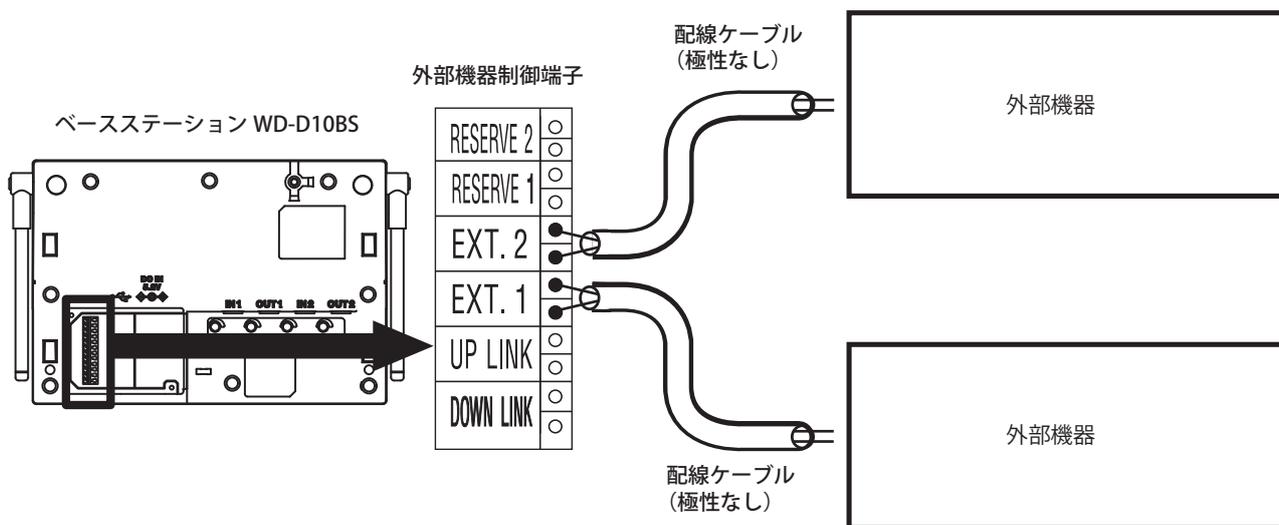
- ・ 外部機器を制御する。
- ・ 外部の音声信号をグループ通話に入力する。
- ・ グループ通話を外部へ出力する。

また、ベースステーション WD-D10BS に放送設備を接続することで、構内放送にも使用できます。

### 外部機器を制御する

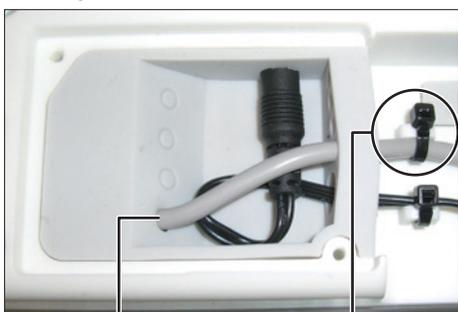
WD-D10BS で、外部機器を制御する場合は、制御する外部機器のリモート端子などと WD-D10BS の外部機器制御端子をケーブルで接続します。

外部制御の端子はリレー接点（メーク / ブレーク選択可）で、接点の容量は DC 24 V 1 A です。



ご注意：

- 配線ケーブルは断線を防止するため、配線後結束バンドで固定してください。また、ケーブルとパッキング穴の間に隙間ができる場合は、防水性能を確保するためにコーキング処理を行なってください。



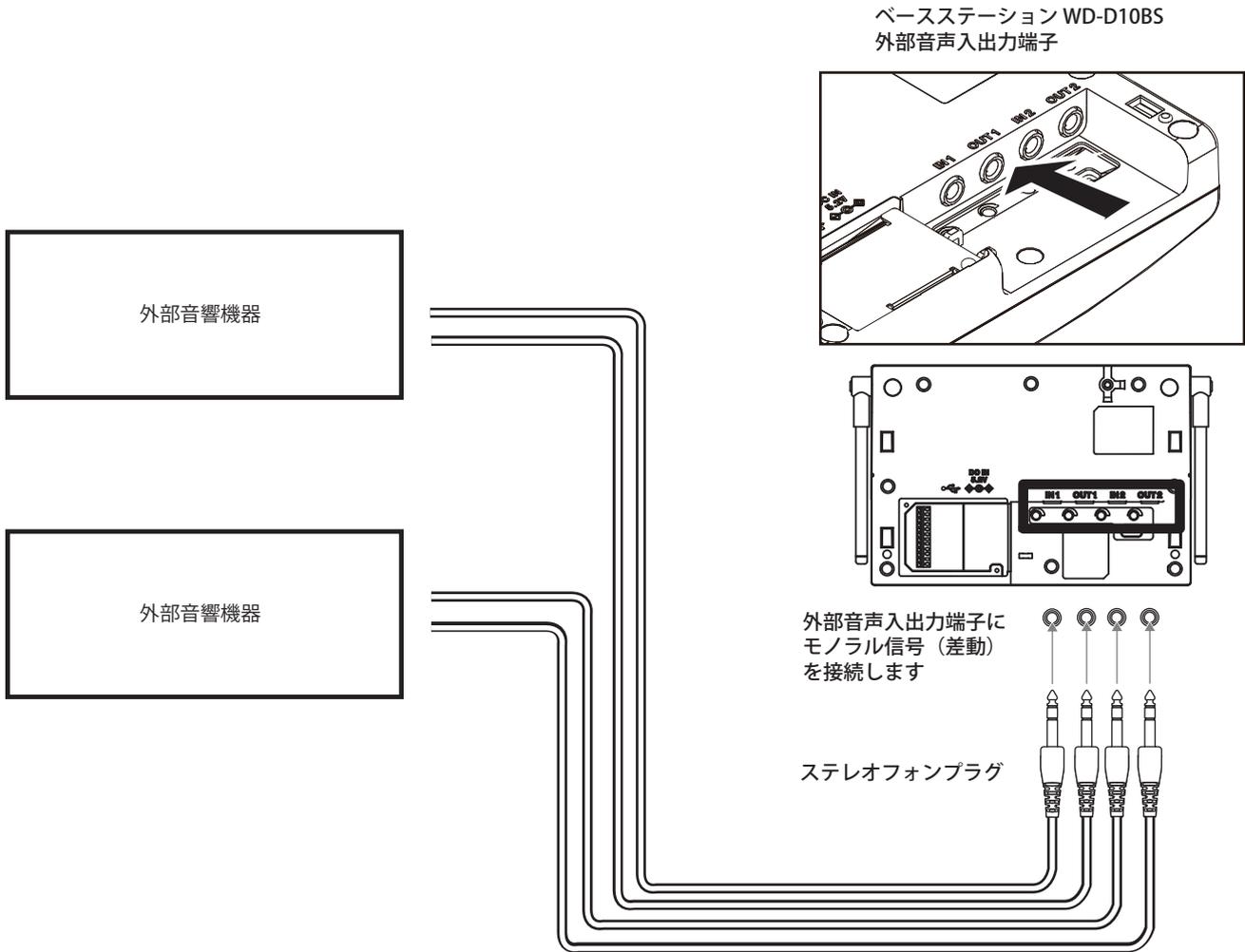
配線ケーブル固定位置

隙間ができる場合はコーキング処理をしてください。

## 外部音響機器を接続する

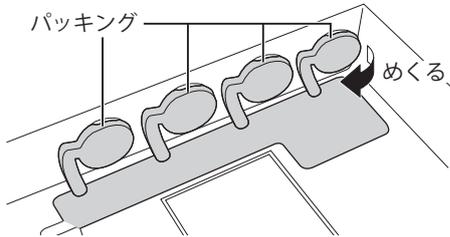
ベースステーション WD-D10BS に外部音響機器を接続することで、グループ通話に外部の音声信号を入力したり、グループ通話を外部へ出力することができます。

ベースステーション WD-D10BS への接続は、外部音声入出力端子に接続します。



ご注意：

- 外部音響機器を接続するときは端子のパッキングをめくります。



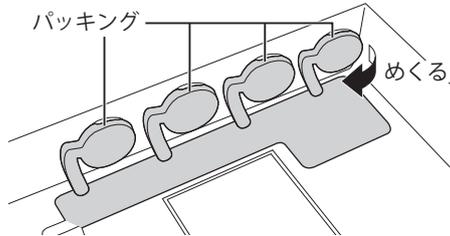
- 防水性能を保つため、外部音響機器を接続しないときは端子にパッキングをかぶせてください。

## ホールマスター WT-MC60 を接続する

ホールマスター WT-MC60 を接続することで、インカム通話に参加することができます。

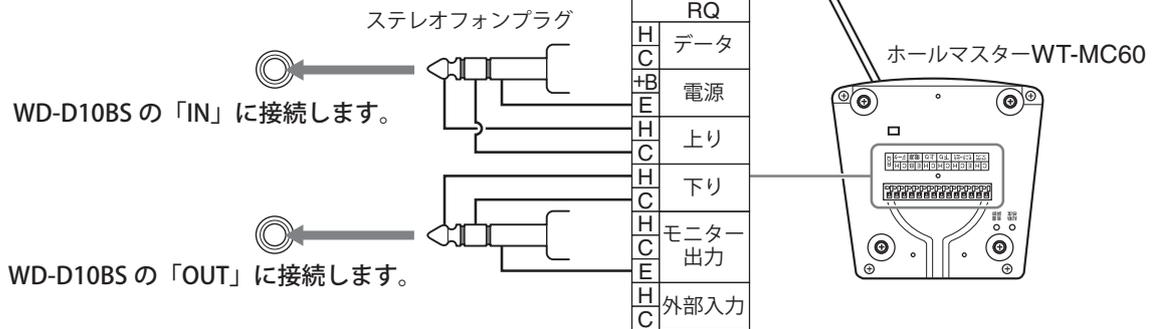
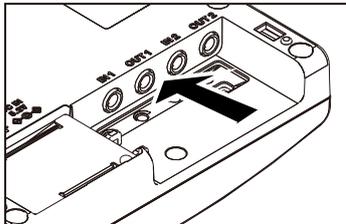
ご注意：

- ACアダプターは、指定のものを使用してください。他のACアダプターを使用すると、動作不良や故障の原因となることがあります。）
- 外部機器を接続するときは端子のパッキングをめくります。



- 防水性能を保つため、外部機器を接続しないときは端子にパッキングをかぶせてください。

### WD-D10BS 外部音声入出力端子



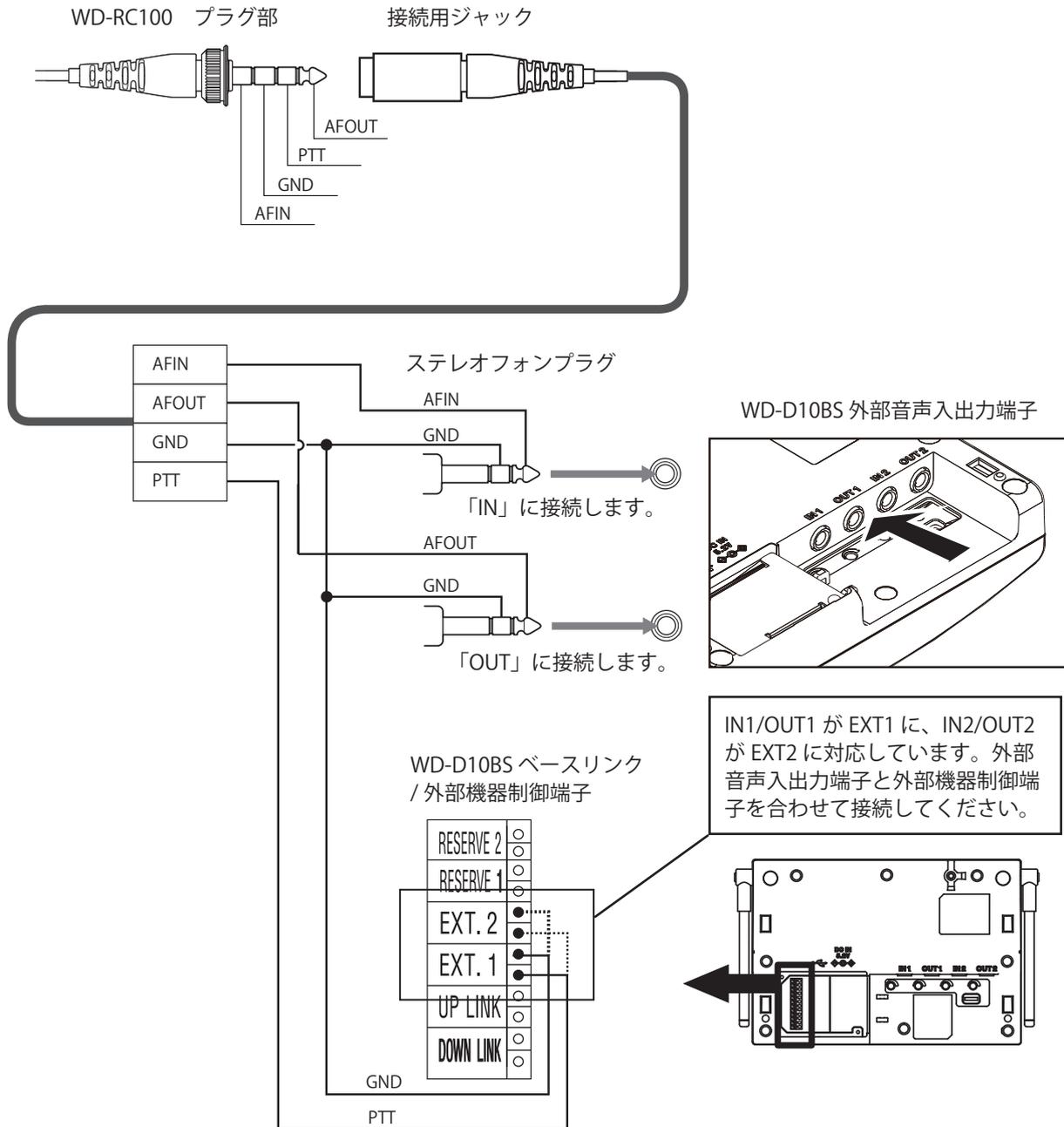
## ベースステーション WD-D10BS を使用して外部無線連絡する

ベースステーション WD-D10BS で外部無線連絡を行なうには、無線機接続ケーブル WD-RC100 の他に下記のケーブルを準備する必要があります。

このケーブルは専用品の用意がありませんので、お客様で準備していただく必要があります。

### ■ 接続例

WD-RC100 のプラグに合う 4 極ジャックを WD-D10BS の外部音声入出力端子と、外部機器制御端子に接続します。



ご注意：

- 外部無線連絡に使用する簡易無線機と、WD-D10BS の本体やアンテナとは 20 cm 以上離して設置してください。近づけすぎるとノイズが発生したり誤動作の原因となります。設置工事完了後、誤動作の有無の確認を必ず実施してください。
- 設置場所については事前によく検証いただいてから運用してください。

## 端末登録とシステム設定の準備をする

デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズのシステムを稼動するには、親機と子機それぞれが通信を行う相手（親機にはすべての子機、子機には親機）の情報の登録と利用環境に合わせたシステム設定が必要です。

親機と子機の登録（端末登録）とシステム設定は親機と子機および設定ソフトウェア WD-ZS10 をインストールした PC を使用して行います。

### ■ 準備するもの

- 親機（ポータブルベースステーション WD-D10PBS またはベースステーション WD-D10BS）
- 子機（ポータブルベースステーション WD-D10PBS（子機モード）またはポータブルトランシーバー WD-D10TR）
- PC（パソコン）
- WD-ZS10
- USB ケーブル（A タイプ - Micro B タイプ）

メモ： \_\_\_\_\_

- WD-ZS10 は最新バージョンをお使いください。古いバージョンで端末に接続すると、エラー表示がでる場合があります。
- WD-ZS10 は以下の WEB サイトよりダウンロードしてください。  
インストール方法については WEB サイトを参照ください。  
[http://www3.jvckenwood.com/pro/soft\\_dl/wd-d10/index.html](http://www3.jvckenwood.com/pro/soft_dl/wd-d10/index.html)

## 親機と子機を登録する（端末登録）

デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズは、親機と子機の両方にお互いの情報を登録することで通信できます。

情報の登録はそれぞれの機器（端末）を使用して登録する方法と、WD-ZS10 を使用して登録する方法があります。それぞれの登録方法の違いは以下のとおりです。

### ● 端末のみを使用して端末登録する（☞ 32 ページ）

子機登録モードに設定した親機と子機を近づけると、それぞれの端末に親機、子機の情報自動的に登録されます。

### ● 設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して登録する（☞ 34 ページ）

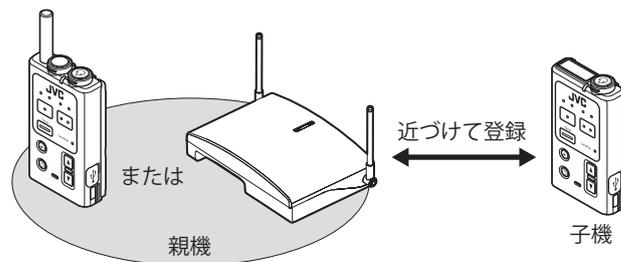
親機または子機を 1 台ずつ PC に接続し、WD-ZS10 を使用して親機または子機の情報登録します。はじめに子機情報を親機に登録し、次に親機情報を子機に登録します。

メモ： \_\_\_\_\_

- 子機として登録できるのは、ポータブルベースステーション WD-D10PBS（子機モードのみ）またはポータブルトランシーバー WD-D10TR です。
- 子機登録の方法については、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## 端末のみを使用して端末登録する

親機と子機の両方を子機登録モードに設定し、近づけることで自動的に親機、子機情報が登録できます。



### ■ WD-D10PBS（親機モード）の場合

ポータブルベースステーション WD-D10PBS（親機モード）に子機を登録します。

メモ： \_\_\_\_\_

- WD-D10PBS の親機モードへの切り換え方法については、WD-D10PBS の取扱説明書をご覧ください。

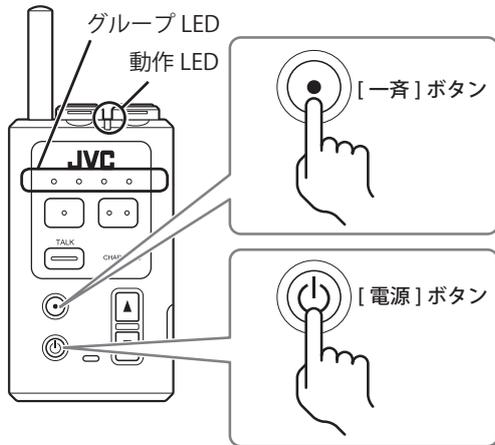
### 1 親機および子機の電源が入っている場合は電源を切ります。

動作 LED が消灯するまで [電源] ボタンを長押しして電源を切ってください。

### 2 親機を登録モードで起動する。

## 設定

親機の [一斉] ボタンを押しながら [電源] ボタンを長押しして、動作 LED が緑色に点灯しグループ LED がすべて点滅するまで押し続けてください。  
登録モードで起動します。



### 3 子機を登録モードで起動する。

子機の [一斉] ボタンを押しながら [電源] ボタンを長押しして、動作 LED が緑色に点灯しグループ LED がすべて点滅するまで押し続けてください。  
登録モードで起動します。

親機と子機が登録モードになると、自動的に登録が行われます。

- 登録に成功した場合：  
子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて点灯します。
- 登録に失敗した場合：  
子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて消灯します。再度登録モードで起動して登録しなおしてください。
- 初期設定では、子機はすべて同じグループ（グループ A）に登録されます。

### 4 子機を再起動する。

子機登録に成功したら、子機を再起動します。  
登録が完了したら、親機も電源を入れなおして再起動してください。

メモ：

- 登録モードを解除する場合は、[機能 2] ボタンを長押しします。
- 何度も登録に失敗する場合は、最大登録数を超えている場合があります。

## ■ WD-D10BS の場合

ベースステーション WD-D10BS に子機を登録します。

メモ：

- ベースリンク型システムの場合、サブ親機に子機を登録することはできません。メイン親機に対して登録を行なってください。

### 1 子機の電源が入っている場合は電源を切る。

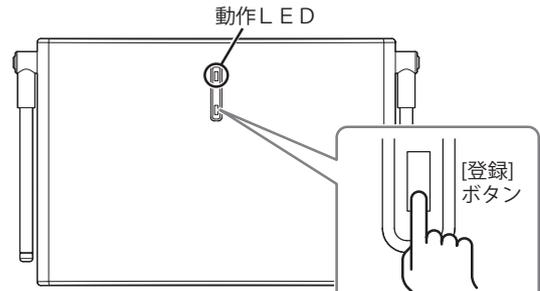
子機の電源を切るには、動作 LED が消灯するまで [電源] ボタンを長押ししてください。

### 2 WD-D10BS の電源を入れる。

WD-D10BS の AC アダプターを AC コンセントに差し込むと電源が入ります。

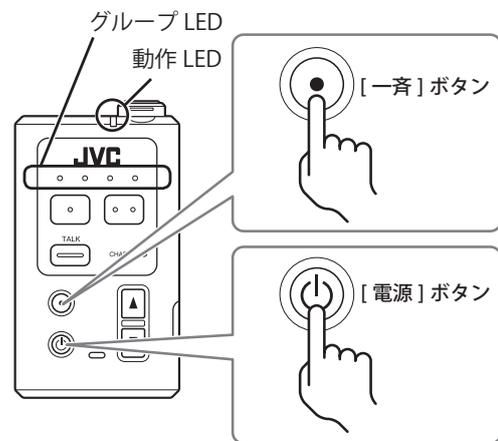
### 3 [登録] ボタンを動作 LED が緑色に点灯するまで長押しする。

登録モードで起動します。



### 4 子機を登録モードで起動する。

子機の [一斉] ボタンを押しながら [電源] ボタンを長押しして、動作 LED が緑色に点灯しグループ LED がすべて点滅するまで押し続けてください。  
登録モードで起動します。



親機と子機が登録モードになると、自動的に登録が行われます。

- 登録に成功した場合：  
子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて点灯します。
- 登録に失敗した場合：  
子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて消灯します。再度登録モードで起動して登録しなおしてください。
- 初期設定では、子機はすべて同じグループ（グループ A）に登録されます。

## 5 子機を再起動する。

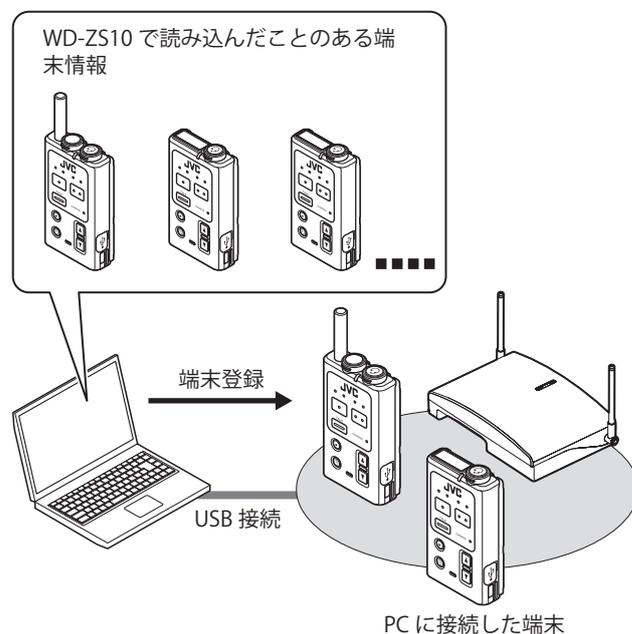
子機登録に成功したら、子機を再起動します。  
登録が完了したら、WD-D10BS の [登録] ボタンを長押しして登録モードを解除してください。

メモ： \_\_\_\_\_

- 何度も登録に失敗する場合は、最大登録数を超過している場合があります。

## 設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して登録する

親機または子機を 1 台ずつ PC に接続し、WD-ZS10 を使用して親機または子機の情報に登録します。



メモ： \_\_\_\_\_

- WD-ZS10 は最新バージョンをお使いください。古いバージョンで端末に接続すると、エラー表示がでる場合があります。
- PC に 2 台以上同時に端末を接続しても通信できません。通信を行う 1 台のみを接続してください。
- WD-ZS10 を使用した端末登録方法および親機、子機と PC の接続については、「システムを設定する」(☞ 38 ページ) および WD-ZS10 ユーザーズガイドをあわせてご覧ください。
- ここでは親機または子機を 1 台ずつ PC に接続して登録する「端末登録 (有線)」の方法について説明します。PC に接続した親機に無線で子機を登録する「端末登録 (無線)」の方法については以下の WEB サイトの製品情報ダウンロードより WD-ZS10 ユーザーズガイド (PDF ファイル) をダウンロードしてご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/pro/avc/product/wd-d10/index.html>



## 無線で端末を登録する

PCに接続している親機（WD-D10PBS（親機モード）またはWD-D10BS）に、無線通信によって子機の情報に登録します。

メモ：

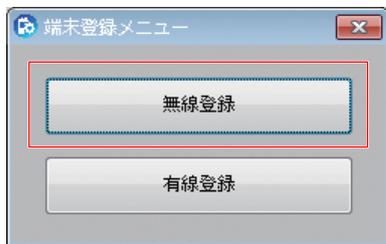
- 設定ソフトウェア WD-ZS10 の端末登録（無線）では、子機に親機を登録することはできません。子機への親機の登録は端末登録（有線）（※ 8 ページ）または端末を使った子機登録で行なってください。
- 一斉通話中の端末がある場合は、無線通信による子機登録はできません。

### 1 ランチャーダイアログで「端末登録」をクリックする



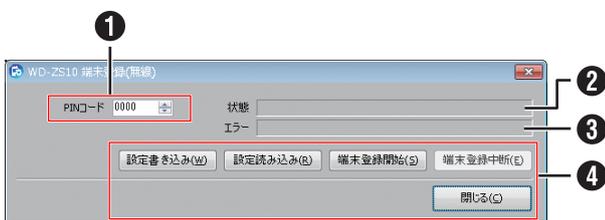
端末登録メニューが開きます。

### 2 [無線登録] をクリックする



端末登録（無線）画面が開きます。

### ■ 端末登録（無線）画面



#### ① PIN コード

第三者による端末の無断使用を防ぐための暗証番号です。PCに接続している端末のPINコードを自動的に読み込んで表示します。PINコードを編集し、端末に書き込むこともできます。

メモ：

- PINコードは任意の4桁の数字を入力します。
- [設定書き込み] をクリックすると設定が端末に書き込まれます。

#### ② 状態

端末登録機能動作中の状態を表示します。

#### ③ エラー

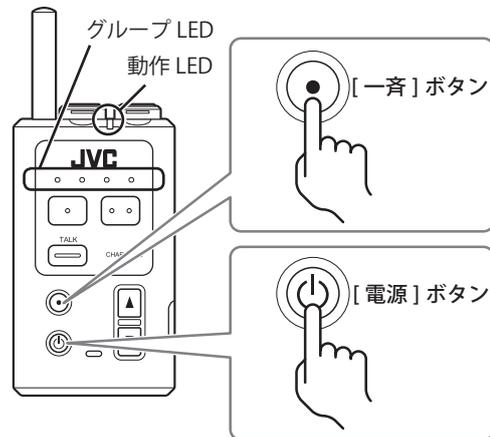
端末登録機能動作中にエラーが発生した場合、エラー内容を表示します。

#### ④ 操作ボタン

| ボタン    | 内容                          |
|--------|-----------------------------|
| 設定書き込み | 編集したPINコードを接続している端末に書き込みます。 |
| 設定読み込み | 接続している端末のPINコードを読み込みます。     |
| 端末登録開始 | 接続している端末の端末登録機能を開始します。      |
| 端末登録中断 | 端末登録を停止します。                 |
| 閉じる    | 端末登録（無線）画面を閉じます。            |

### 3 登録する子機の登録モードを起動する

子機の[一斉]ボタンを押しながら[電源]ボタンを長押しして、動作LEDが緑色に点灯しグループLEDがすべて点滅するまで押し続けてください。登録モードで起動します。



### 4 端末登録（無線）画面で [端末登録開始] をクリックする

親機が自動的に無線登録モードに切り換わり、端末登録を開始します。



【登録に成功した場合】：

子機の動作LEDが緑色に点灯し、グループLEDがすべて点灯します。

【登録に失敗した場合】：

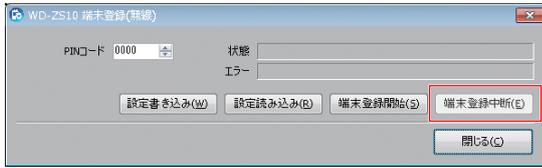
子機の動作LEDが緑色に点灯し、グループLEDがすべて消灯します。

端末の電源を切ってから、手順3に戻り再度登録モードで登録しなおしてください。

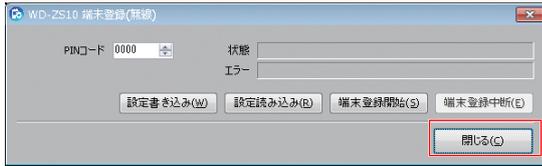
メモ：

- 途中で登録を停止させるには [端末登録中断] をクリックしてください。

5 すべての端末登録が成功したら端末登録（無線）画面で「端末登録中断」をクリックする登録動作を停止します。



6 「閉じる」をクリックする。  
登録完了です。



## 有線で端末を登録する

PCに親機と子機を接続し、設定ソフトウェアWD-ZS10で読み込んだことのある端末一覧から、親機に子機情報の登録を、子機に親機情報の登録を行います。また、リストにある端末を削除することもできます。

メモ：

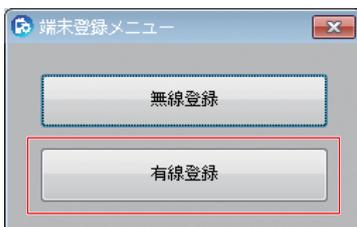
- 電波状況が悪いときや、電波使用ができないところでの登録には有線登録が便利です。
- 子機には親機を最大6台登録できますが、親機を複数稼働させるシステムを構築する場合、子機を毎回決まった親機に接続させるには、「端末登録」の端末設定リストに表示される番号順と、システム設定の「ベース選択」の番号を一致させることで子機を毎回決まった親機に接続させることができます。
- ベースリンク型システムのサブ親機に子機を登録することはできません。メイン親機に対して子機登録を行ってください。
- 親機を親機へ、子機を子機へ登録することはできません。

1 子機をPCに接続する

2 ランチャーダイアログで「端末登録」をクリックする

端末登録メニューが開きます。

3 「有線登録」をクリックする



端末登録（有線）画面が開きます。

## ■ 端末登録（有線）画面



① 端末一覧

過去にPCに接続し、WD-ZS10で読み込んだ端末の情報が最大150台まで表示されます。選択した端末を「端末設定」のリストへ追加できます。

| 項目      | 内容   |
|---------|--|
| ID      | 端末のIDを表示します。<br>端末一覧のタイトルセル「ID」をクリックすると、ID順に並べ替えを行います。 |
| タイプ     | 端末のタイプを表示します。<br>PP（子機）／FP（親機（ベースステーション））／PFP（親機）      |
| リストへ追加  | PCに接続している端末を「端末一覧」のリストに登録します。                          |
| リストから削除 | 表示している端末のIDを選択し（複数可）リストから削除します。<br>削除する前に確認画面が表示されます。  |

② 「追加」ボタン

「端末一覧」で選択した端末を「端末設定」リストに追加します。

③ 端末設定

PCに接続されている端末に登録されている親機または子機の情報が表示されます。

| 項目     | 内容   |
|--------|--|
| 機種名    | PCに接続している端末のモデル名が表示されます。   |
| PINコード | PCに接続している端末のPINコードが表示されます。   |
| ID     | 端末のIDを表示します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>● 親機が接続されている場合：<br/>登録されている子機のIDを最大108台まで表示します。</li> <li>● 子機が接続されている場合：<br/>登録されている親機のIDを最大6台まで表示します。</li> </ul> IDの表示順は登録順に表示し、タイトルセル「ID」をクリックすることによりID昇順、ID降順、ID登録順に並び替えを行います。 |

# 設定

| 項目      | 内容  |
|---------|---|
| 設定書き込み  | 編集した「端末設定」リストの内容を、PCに接続されている端末に書き込みます。                    |
| 設定読み込み  | PCに接続されている端末から設定を読み込みます。機種名、PINコードおよび「端末設定」リストの内容が更新されます。 |
| リストから削除 | 選択している端末をリストから削除します。                                      |

## 4 [閉じる] ボタン

端末登録（有線）画面を閉じます。

## 4 端末登録（有線）画面の「端末一覧」リストに子機の ID が登録されたことを確認する

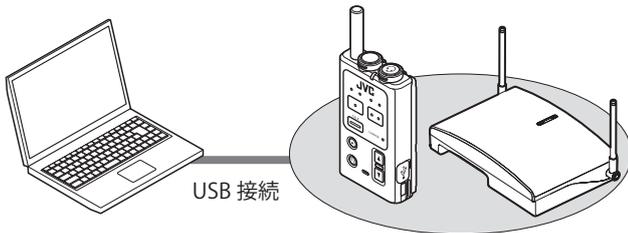
子機の ID はタイプ PP です。



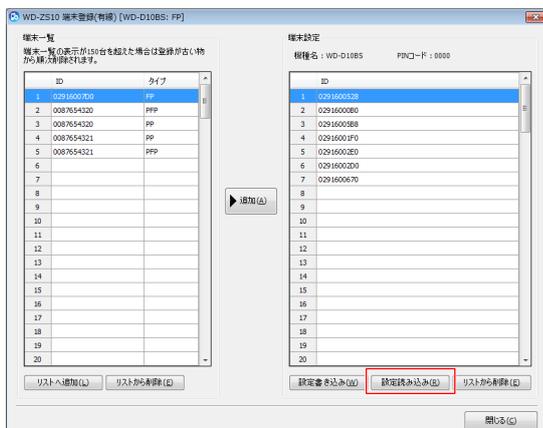
メモ：

- WD-ZS10 への子機の ID 登録は一度登録すれば次回からの登録は不要です。

## 5 親機を PC に接続する



## 6 端末登録（有線）画面の [設定読み込み] をクリックする

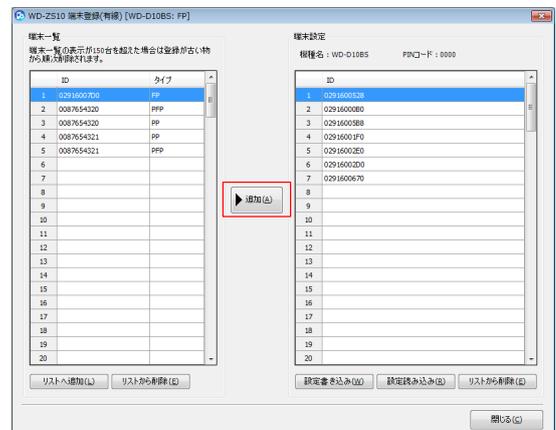


## 7 端末登録（有線）画面の「端末一覧」リストから、登録したい子機の ID を選択する



## 8 [追加] をクリックして「端末設定」リストに追加する

選択した子機の ID が「端末設定」リストに追加されます。さらに登録済みの端末を追加する場合は、「端末一覧」リストの [リストへ追加] ボタンを押してから、手順 5～6 を繰り返します。



メモ：

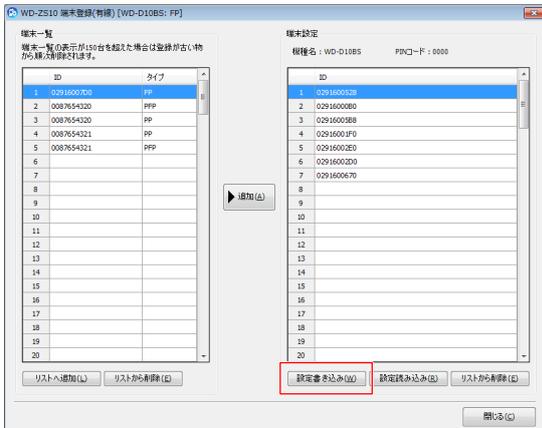
- 選択した端末の ID をドラッグ＆ドロップする、または選択した端末の ID の右クリックメニューで、「端末設定へ追加」をクリックしても、「端末設定」リストに追加することができます。



- すでに「端末設定」リストに登録されている子機の ID は追加できません。

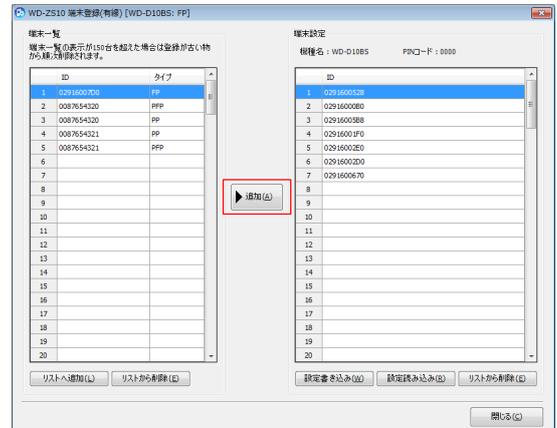
9 [設定書き込み] をクリックする

編集した子機情報の内容が、接続されている親機に書き込まれます。

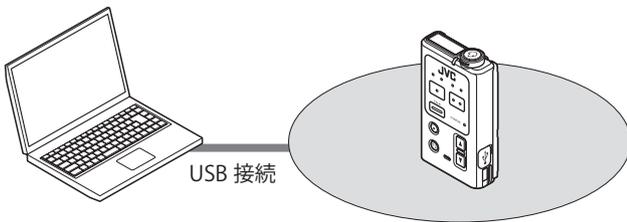


13 [追加] をクリックして「端末設定」リストに追加する

選択した親機のIDが「端末設定」リストに追加されます。

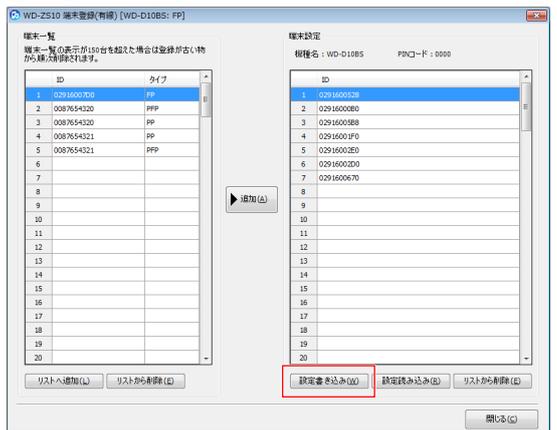


10 子機を PC に接続する

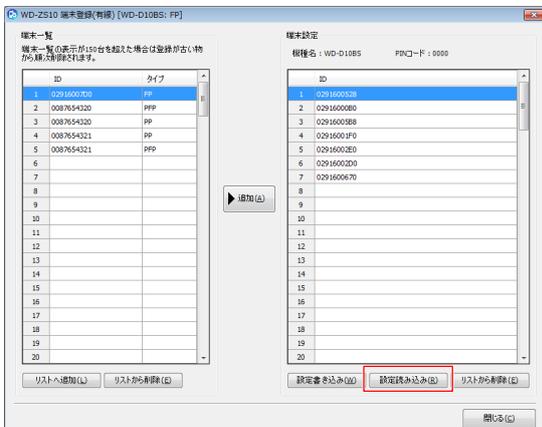


14 [設定書き込み] をクリックする

編集した子機情報の内容が、接続されている親機に書き込まれます。



11 [設定読み込み] をクリックする

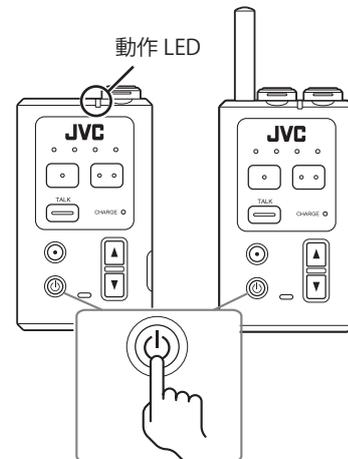


12 端末登録 (有線) 画面の「端末一覧」リストから、登録したい親機のIDを選択する

親機のIDはタイプ PFPもしくはFP(ベースステーション)です。

15 端末登録した親機と子機の電源を入れる

電源を入れると自動で親機と子機が通信し、子機の動作LEDが緑色に点滅したら完了です。



## システムを設定する

### 設定ソフトウェア WD-ZS10 について

WD-ZS10 は、デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズの各種設定や、接続の管理などを行うアプリケーションです。

- 各端末のシステム設定の読み込みや変更を行い、ファイルとして保存することができます。
- 接続している端末へ設定を書き込むことができます。
- 無線通信によって、端末の設定を更新することができます。
- 接続している端末に、他の端末を子機として登録することができます。
- 端末のファームウェアを更新することができます。
- ・ 適用機種：
  - ポータブルベースステーション WD-D10PBS
  - ポータブルトランシーバー WD-D10TR
  - ベースステーション WD-D10BS

メモ：

- WD-ZS10 は最新バージョンをお使いください。古いバージョンで端末に接続すると、エラー表示がでる場合があります。
- WD-ZS10 の操作説明では、WD-D10PBS、WD-D10TR、WD-D10BS を「端末」と表記しています。
- 設定方法については以下の WEB サイトの製品情報ダウンロードより WD-D10 シリーズ取扱説明書 (PDF ファイル) および WD-ZS10 ユーザーズガイド (PDF ファイル) をダウンロードしてください。

<http://www3.jvckenwood.com/pro/avc/product/wd-d10/index.html>



WD-ZS10 は以下の WEB サイトよりダウンロードしてください。

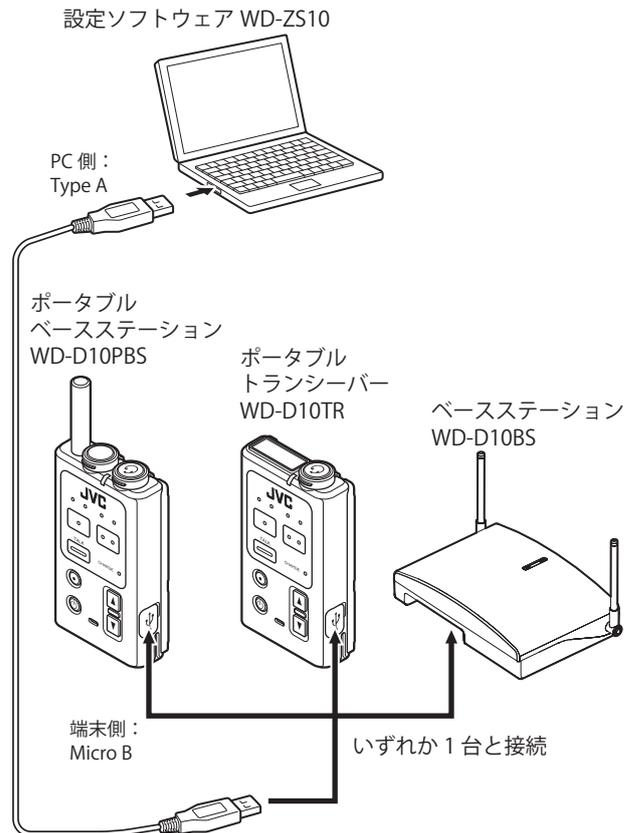
[http://www3.jvckenwood.com/pro/soft\\_dl/wd-d10/index.html](http://www3.jvckenwood.com/pro/soft_dl/wd-d10/index.html)

### PC と接続する

WD-ZS10 をインストールした PC と、デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-D10 シリーズの端末 (WD-D10PBS、WD-D10TR、WD-D10BS) を接続します。

メモ：

- PC に 2 台以上同時に端末を接続しても通信できません。通信を行う 1 台のみを接続してください。



USB ケーブル (A タイプ - Micro B タイプ) (別売)  
(2 m 以内)

ご注意：

- WD-D10PBS と WD-D10TR のデータ設定端子から USB ケーブルをはずしたあとは、端子キャップを必ず取り付けてください。端子キャップを取り付けるときは中に押し込んでキャップが浮かないようにしてください。キャップに浮きがあると防水性能に影響を与える場合があります。



## WD-ZS10 を使用してシステムを設定する

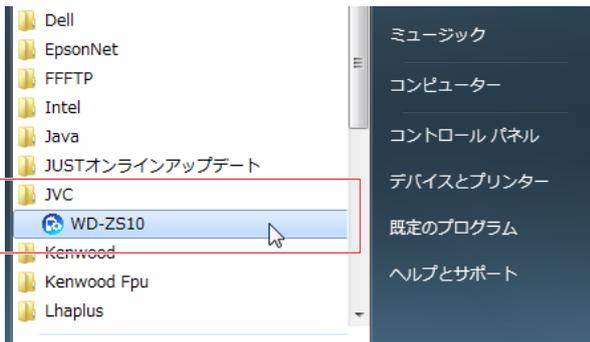
親機および子機のシステム設定を行います。  
ここでは WD-ZS10 を起動し、システム設定を各機器に書き込むまでの流れについて説明します。  
設定項目の詳細については WD-ZS10 のユーザーズガイドをご覧ください。

メモ： \_\_\_\_\_

- システム設定で作成したファイルを使い、無線通信を使って複数の子機に同じ設定を書き込むことができます。詳しくは WD-ZS10 ユーザーズガイドをご覧ください。
- WD-D10PBS および WD-D10TR は、PC に接続せず、本体のボタンを使用して簡単な設定を行うことができます（設定メニューモード）。詳しくは WD-D10PBS/WD-D10TR の取扱説明書をご覧ください。

1 スタートメニューで「スタート」—「すべてのプログラム」—「JVC」の順にクリックする

2 「WD-ZS10」をクリックする



※ 画面は Windows 7 のものです。

ランチャーダイアログが起動します。

3 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする

接続されている端末のシステム設定データを自動的に読み込んで表示します。



メモ： \_\_\_\_\_

- 端末が接続されていない場合は、前回設定したモデルの初期値が表示されます。（はじめて起動する場合は、WD-D10PBS（親機モード）の初期値が表示されます。）端末を接続せずに設定を続ける場合は、設定するモデルを選択してください。詳しくは WD-ZS10 のユーザーズガイドをご覧ください。

4 設定する項目のタブをクリックし、設定を変更する



表示されるタブや設定項目は、設定するモデルによって異なります。詳しくは WD-ZS10 のユーザーズガイドをご覧ください。

5 [設定書き込み] をクリックする



メモ： \_\_\_\_\_

- 設定を書き込まずに PC に保存するときは [保存] をクリックします。

6 [OK] をクリックする

接続している端末に変更した設定が書き込まれます。  
WD-D10PBS および WD-D10TR はこの時点で設定内容が反映されます。

7 WD-D10BS に設定内容を反映させる

WD-D10BS に端末が接続されている場合は、この時点で設定内容は反映されていません。  
以下のどちらかを実施し、設定内容を反映させてください。

- ・ 接続しているすべての端末の電源を切る
- ・ WD-D10BS の電源を入れなおす

## リスニングモードを設定する

リスニングモードは使用できる環境や子機の動作に制限がありますが、少ないベースステーションでより多くの子機を運用することができます。特定の人のみ指示や返事を行い、他の人はその内容を聞くことだけが多い場合などに有効です。

リスニングモードで子機を使用するには、以下の設定が必要です。

- ・ リスニング電波送出の設定（当ページ）
- ・ 子機の登録（☞ 32 ページ）
- ・ 子機のモード切り換え（☞ 42 ページ）
- ・ リスニングトーク解除時間の設定（☞ 43 ページ）

### ■ 各モードの動作 LED と音声ガイド

子機モード（グループ通話モード）とリスニングモード起動時の動作 LED の表示と音声ガイドは下表のとおりです。

| 起動モード                | LED の表示           | モード起動時の音声ガイド |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 子機モード<br>(グループ通話モード) | 緑点滅               | トランシーバー      |
| リスニングモード             | 青点滅<br>(トーク中は緑点滅) | リスニングモード     |

### ■ 親機でのリスニング電波送出の設定

1 親機（WD-D10BS および WD-D10PBS）を PC に接続し、設定ソフトウェア WD-ZS10 を起動する

2 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする



3 「システム」タブをクリックする

4 「リスニング電波送出」欄で「A」から「D」のいずれかのグループにチェックを付ける

リスニングモード中に電波を送信するグループを選びます。



5 [設定書き込み] をクリックする



6 [OK] をクリックする

接続している親機に変更した設定が書き込まれます。

メモ：

- リスニング電波送出の設定については通信チャンネルを使用するため、グループを増やした場合、子機の最大接続台数に影響があります。通常音質モードでは、2 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。高音質モードでは、1 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。

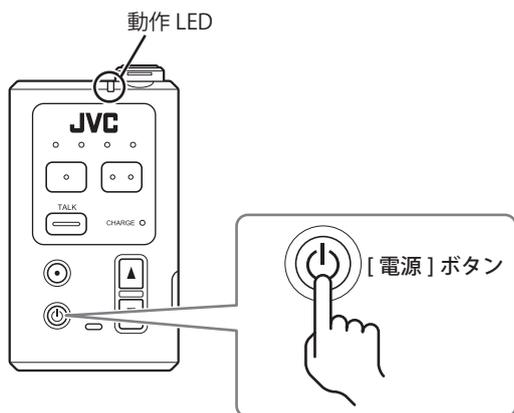
## ■ 子機のモード切り換え

子機をリスニングモードに切り換えます。モードの切り換えは子機本体を操作する方法と設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用する方法があります。

### ● 子機本体を操作して切り換える

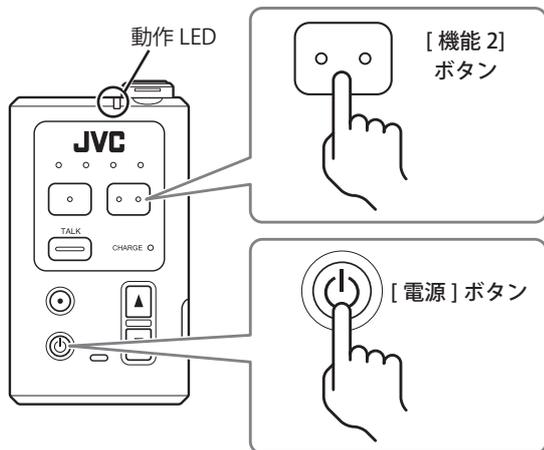
- 1 子機の電源が入っている場合は、[電源] ボタンを動作 LED が消灯するまで長押しして電源を切る

点滅状態ではなく、消灯したことをご確認ください。



- 2 子機をリスニングモードで起動する

子機の [機能 2] ボタンを押しながら [電源] ボタンを長押しして、音声ガイドが流れ動作 LED が青色に点滅するまで押し続けてください。リスニングモードで起動します。モードが切り換わると自分が所属する通話グループの会話が聞こえます。



リスニングモード中に再度同じ操作をすると、グループ通話モードで起動します。

メモ： \_\_\_\_\_

- モードを切り換えたあとは、再度切り換え操作を行うまではモードが固定されます。

### ● WD-ZS10 を使って切り換える

メモ： \_\_\_\_\_

- 設定方法については、WD-ZS10 ユーザーズガイドもあわせてご覧ください。

- 1 子機を PC に接続し、WD-ZS10 を起動する
- 2 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする



- 3 「システム」タブをクリックする
- 4 「運用モード」欄で「リスニングモード」を選択する



- 5 [設定書き込み] をクリックする
  - 6 [OK] をクリックする
- 接続している端末に変更した設定が書き込まれます。

## 設定

### ■ リスニングトーク解除時間の設定

「リスニングトーク解除時間」を設定することで、リスニングトーク中の子機がトーク状態から受信のみを行うモードに戻るまでの時間を変更できます。

リスニングトーク解除時間は、設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して設定します。

メモ： \_\_\_\_\_

- 設定方法については、設定ソフトウェア WD-ZS10 ユーザーズガイドもあわせてご覧ください。

1 子機を PC に接続し、設定ソフトウェア WD-ZS10 を起動する

2 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする



3 「システム」タブをクリックする

4 「運用モード」欄で「リスニングモード」を選択する



5 「リスニングトーク解除時間」欄に解除時間を入力する

0 秒から 10 秒の間で設定できます。

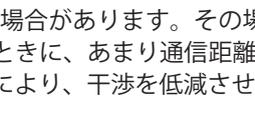


6 [設定書き込み] をクリックする

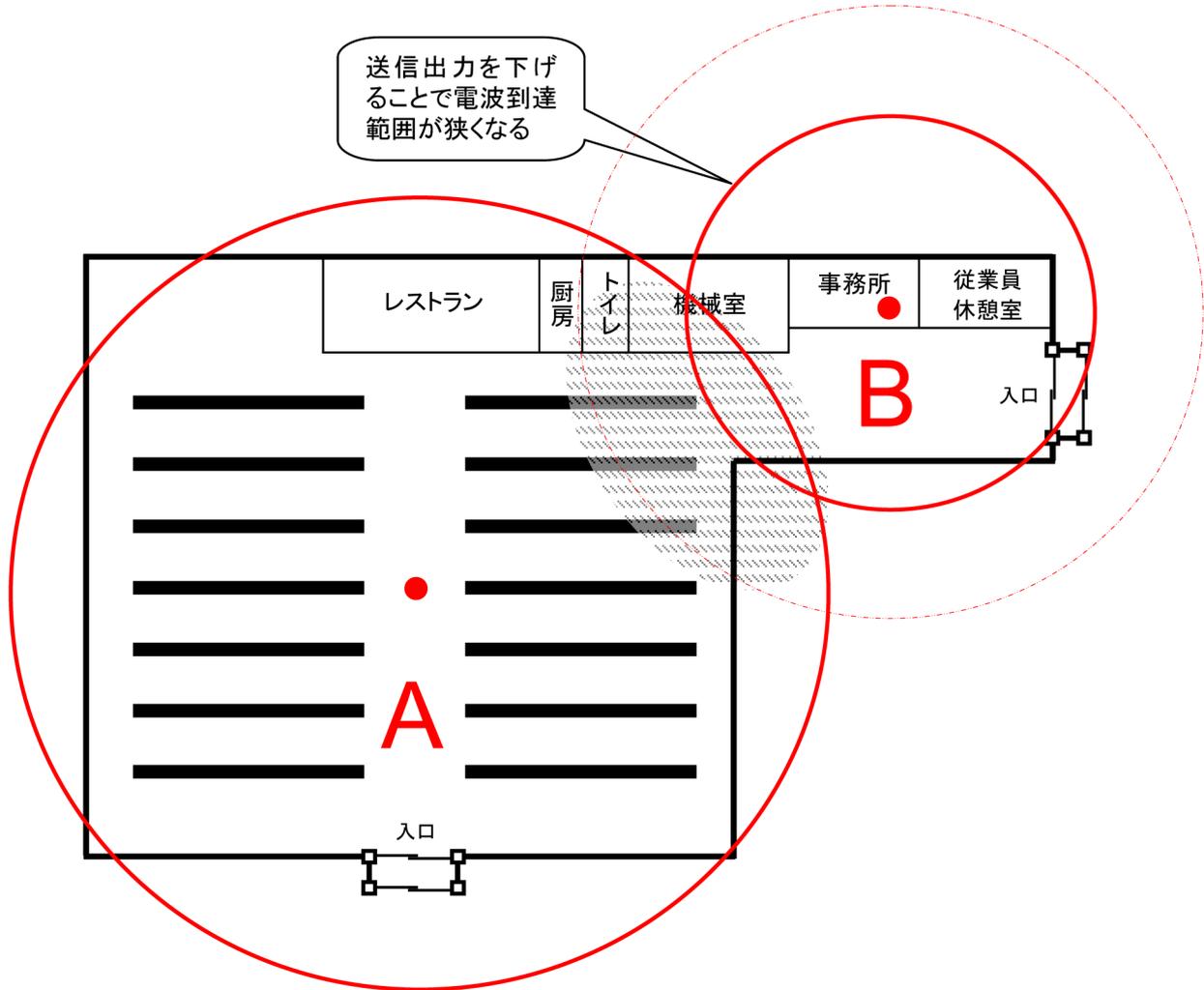
7 [OK] をクリックする

接続している子機に変更した設定が書き込まれます。

## ベースステーションの送信出力を選択する

ベースステーションの送信出力を低下させる機能です。例えば下記のようなケースで有効な場合があります。ベースステーションが複数のエリアに設置される場合、かつ子機台数が多い場合（例えば 10 台程度）だと、チャンネル数の制約から A のエリアと B のエリアで同じチャンネルを使う場合があります。その場合に子機が図の  のエリアで干渉を起こしノイズを発生する可能性があります。そのようなときに、あまり通信距離の必要のない事務所などのバックヤードに設置されたベースステーションの送信出力を低下することにより、干渉を低減させてノイズを減らす効果があります。

●：ベースステーション配置場所の目安



ご注意：

- 通信距離に影響があるので広いエリア側の送信出力は下げないでください。また狭いエリア側の送信出力を下げる場合にも、事前に十分な検証を行なって通話に支障が出ないことを確認してください。
- 本機能はエリア分けを目的とした機能ではありません。

## 設定

### ■ ベースステーションの送信出力を設定する

設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して設定します。

メモ： \_\_\_\_\_

- 設定方法については、WD-ZS10 ユーザーズガイドもあわせてご覧ください。

- 1 WD-D10PBS (親機モード) または WD-D10BS (ベースリンク型システムの場合はメイン親機) を PC に接続し、WD-ZS10 を起動する
- 2 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする



- 3 「RF」 タブをクリックする
- 4 (WD-D10BS のみ) 「メイン」「サブ 1」「サブ 2」「サブ 3」 から設定したいベースステーションを選択する
- 5 「送信出力」を「小」または「大」に設定する



画面は WD-D10BS で設定した場合のものです。

- 6 (WD-D10BS のみ) 「ベースリンク」欄の表示が「取得中」でないことを確認する
- 7 [設定書き込み] をクリックする
- 8 [OK] をクリックする

接続している端末に変更した設定が書き込まれます。

メモ： \_\_\_\_\_

- WD-D10BS をベースリンク型システムで運用しているときは、メイン親機となる WD-D10BS を PC に接続しないと、サブ親機の設定内容を書き込むことはできません。

### 9 WD-D10BS に設定内容を反映させる

WD-D10BS に端末が接続されている場合は、この時点で設定内容は反映されていません。以下のどちらかを実施し、設定内容を反映させてください。

- 接続しているすべての端末の電源を切る
- WD-D10BS の電源を入れなおす

# システムの動作確認をする

## 子機の接続状況を確認する

ベースステーション設置後、設定ソフトウェア WD-ZS10 を使用して、システムのサービス提供エリア内における登録済みの子機がベースステーションに接続したときの接続状況（接続に用いられる PCM チャンネルや子機の IPUI）を確認できます。これにより、簡易的にシステムのサービス提供エリア外（圏外）になるエリアや、使用できる電界強度のエリア（圏内）を知ることができます。

なお、この機能は簡易的なものですので、電界強度の測定には PHS アナライザや DECT アナライザを併用してください。

### ● ご参考

- ・ ベースステーションの設置場所には、登録したすべての子機を、使用したいすべての場所で実際に運用したとき、接続状況表示画面に子機の IPUI が常に表示される場所を選定します。
- ・ 端末の信号を受信するときに、周囲の状況によってレベルが変化します。端末の近くに人影があったなどでも変化しますので、測定する地点で複数回確認してください。また、歩いたり止まったりして実際の通話を伴う運用を行い、通話品質を確認しながら行ってください。
- ・ 測定機器で使用するアンテナと、端末で使用しているアンテナでは利得差がありますので、測定値にご注意ください。

メモ：

- 接続状況の確認方法については、設定ソフトウェア WD-ZS10 ユーザーズガイドもあわせてご覧ください。

**1** WD-D10PBS（親機モード）または WD-D10BS（ベースリンク型システムの場合はメイン親機）を PC に接続し、WD-ZS10 を起動する

**2** ランチャーダイアログで「接続状況表示」をクリックする

接続状況表示画面が開きます。



## ● 接続状況確認画面（WD-D10BS 親機モード）



## （WD-D10PBS 親機モード）



### ① 機種情報表示部

| 項目      | 内容  |
|---------|---|
| 機種名     | PC に接続されている親機のモデル名を表示します。                     |
| RFPI    | 端末 ID を表示します。                                 |
| 接続数／登録数 | 親機へ接続している子機の台数（左側）と親機に登録されている子機の台数（右側）を表示します。 |

### ② 接続状況表示部

WD-D10BS がベースリンク接続の場合、メイン、サブ 1～3 までの情報を表示します。

| 項目        | 内容                              |
|-----------|---------------------------------|
| No        | スロット 1～12 までを表示します。             |
| IPUI      | 各スロットに接続している子機の ID を表示します。      |
| 製造番号      | 各スロットに接続している子機の製造番号を表示します。      |
| PCM チャンネル | 各スロットに接続されている子機の周波数チャンネルを表示します。 |

### ③ [閉じる] ボタン

接続状況確認画面を閉じます。

## ■ 接続状況確認画面 (WD-D10PBS 子機モード / WD-D10TR)



### ① 機種情報表示部

| 項目    | 内容                        |
|-------|---------------------------|
| 機種名   | PC に接続されている子機のモデル名を表示します。 |
| IPUI  | PC に接続している子機の ID を表示します。  |
| 製造番号  | PC に接続されている子機の製造番号を表示します。 |
| バージョン | 現在のソフトウェアのバージョンを表示します。    |

### ② 親機情報表示部

| 項目   | 内容             |
|------|----------------|
| RFPI | 端末 ID を表示します。  |
| 製造番号 | 親機の製造番号を表示します。 |

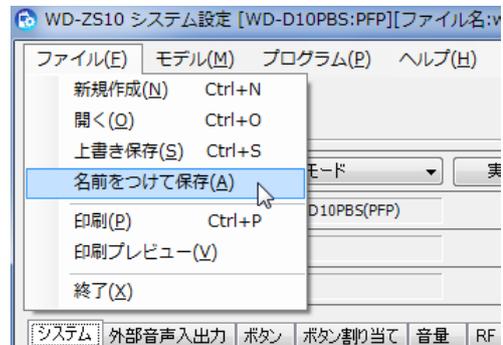
### ③ [閉じる] ボタン

接続状況確認画面を閉じます。

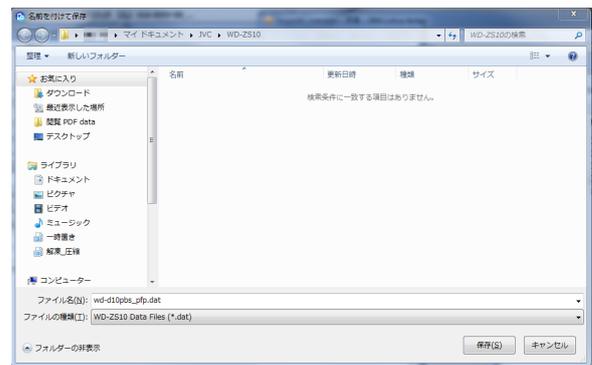
## 設定データをバックアップする

動作の確認が終了したら、システム設定データを PC に保存して、バックアップデータを作成します。

### 1 設定ソフトウェア WD-ZS10 のシステム設定画面でメニューバーのファイルから、「名前をつけて保存 (A)」をクリックする



### 2 PC の任意のフォルダーを選択する



### 3 [保存] をクリックする

PC にシステム設定のバックアップデータが保存されます。

これで、システムデータ設定は終了です。

**JVC ケンウッド  
カスタマーサポートセンター**固定電話からは、フリーダイヤル  0120-2727-87携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル  0570-010-114一部の IP 電話など、フリーダイヤル、  
ナビダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950

FAX を送信される場合は 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12  
受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）  
受付時間 月～金曜日 9：30～18：00  
土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>**株式会社 JVCケンウッド**

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12